

平成28年度 事業報告



社会福祉法人 足立邦栄会 障害者支援施設 みずき

障害者支援施設（生活介護Ⅰ・Ⅱ）

障害者支援施設（施設入所支援）

障害福祉サービス事業（短期入所）

地域生活支援事業（日中一時支援）

心身障害者（児）委託型ショートステイ事業

目 次

I	全体	・・・	P 3
II	生活支援部門	・・・	P 5
	・ 入居支援課（生活介護Ⅰ／短期入所）		
	・ 通所支援課（生活介護Ⅱ／委託型短期入所／日中一時支援）		
	・ サービス管理責任者（全体／入居支援課／通所支援課）		
	・ 医務科（全体／入居支援課／通所支援課）		
	・ リハビリテーション（作業療法／理学療法）		
	・ 栄養科		
	・ 地域コーディネーター		
III	管理部門	・・・	P 18
	・ 管理課		
IV	会議・委員会	・・・	P 20
	・ 人材育成会議		
	・ 予算管理会議		
	・ リスク管理会議／安全委員会		
	・ 日中活動委員会		
	・ 権利擁護研修委員会		
	・ 行事委員会		
	・ 食事委員会		
	・ 健康管理委員会		
	・ 広報委員会		
V	データ	・・・	P 27
	・ 入居支援課通期データ（人事・労働安全衛生・利用実績・事故ヒヤリ）		
	・ 通所支援課通期データ（人事・労働安全衛生・利用実績・事故ヒヤリ）		
	・ 利用状況集計（入居支援課／通所支援課）		
	・ 日中活動実績（みずき全体／通所支援課）		
	・ 権利擁護委員会報告（苦情・相談）		
	・ 実習・研修等実績（実習・外部研修・内部研修）		
	・ 医療状況（入居支援課受診状況／通所支援課医療状況）		
	・ 食事提供数集計表		
	・ 諸会議実施報告		

平成28年度 みずき事業報告

I みずき全体

【みずき全体】 「ホスピタリティ」	
通期	「ホスピタリティ」は、ご利用者等に対し良質なサービス・支援を提供するために、例えば「良い支援」に目を向け、組織をもっと活性化させ、職員が個々にあるいはチームとして意欲を持って主体的に進んでいくためのキーワードであったと思います。しかし事業計画に掲げた目標に対する推進力が弱かった部分もあるのは否めず、みずきとして力強い組織運営が十分成されているとまでは言えません。職員体制の不安定さやご利用者の生活を包括的に支援していくという中で、ネガティブな部分に焦点が当たり負のフィードバックからなかなか抜け出せません。そのための特効薬を探すのではなく、組織・チーム内で情報や思いを共有し、そこから議論を発展させ協力して支援につなげていくという地道な取り組みの集積に、あきらめることなく取り組まなければならないと思います。
重点目標1 思いやり、心遣い、他者の傷みを感じ取るといった心情を主体的に支援に体现	
通期	ホスピタリティの核となる姿勢について、運営姿勢としての発信と部署ごとの取り組みは一定程度推進できたと思えています。しかし第三者評価の利用者評価の結果や挙げられた苦情等からは、ご利用者にとって、取り組みの成果は十分実感されておらず、より強力で効果のある取り組みの検討が迫られていると捉えています。
重点目標1	① ご利用者の強み・意欲・個性・つながりを大切にした個別支援(計画)の充実
通期	ご利用者を中心に多職種が連携すること、ケア担当が支援者側の主体になること、PDCAサイクルを確立すること等に、サービス管理責任者を中心に取り組みました。ケア担当の意識も高まっていると思います。ただし2月の東京都と府中市の指導検査で、書式や記録の不備の指摘もありました。制度に合致することも十分検討し、ケアプランの考え方を明確に示して取り組みを進めていきます。
通期	② 相手への理解・共感・想像力を高め、積極的で丁寧な対応
通期	あいさつの励行やもてなしの姿勢、対応についてなど取り組みがありました。経営会議からは「あいさつの励行」を全体発信、管理課は重点目標の第一にもてなしの姿勢の向上を掲げ積極的に取り組み、入居支援課は職員の月間目標、通所支援課は全体職員会議で「対応について」内部研修を実施するなどしました。中長期的にご利用者や外部の評価につながると確信し今後も緩めることなく推進していきたいと思えます。
重点目標2 自立した人格＝支援者が、自立した人格＝ご利用者を支援	
通期	ご利用者も職員も、自立した人格として尊重とされるというのが「ホスピタリティ」のベースであるということから立てた目標ですが、後述する通り十分な成果を挙げられなかったと言わざるを得ません。もちろん様々な取り組みが無意味であったわけではなく、職員の積極的な姿勢が支援の成果や信頼感の醸成につながっている場面もたくさんあります。そこをいかにに顕在化し、共有、評価していくかが大事になっていると考えています。
重点目標2	① ご利用者の尊厳の尊重
通期	権利擁護研修や職員セルフチェックリストの実施、権利擁護委員会での苦情等への対応、権利擁護研修委員会の取り組み等継続していますが、入居ご利用者の苦情は減る傾向にありません。今後も様々な角度から、ご利用者の尊厳を尊重する取り組みをしなければなりません。一方で職員に対して実施したモラルサーベイ結果からは、課題の責をご利用者に帰すような記述は以前に比べ減少しており、職員の意識の変化は起こっているのかもしれないと思います。また「良い支援」の報告等、支援を肯定的に見つめ直すという意識的な取り組みを続けることに加え、職員がご利用者等から追い詰められたり過大な業務を抱え込んだりすることのないようバックアップする体制も強化しなければならないと思います。
通期	② やる気を持つ人材が定着する、人材育成計画の推進
通期	役職者を含めた中堅の人材は定着してきており、法人人材育成プロジェクトにも参加しています。みずき内部では人材育成会議を中心とした取り組みを継続していますが、面談の実施や個人研修計画シートの作成、内部研修の実施等、推進力が低下してしまった部分がありました。経営層と人材育成会議との連携等課題があると捉えており、次年度導入される人事考課制度の中味を伴った実行と合わせ、もう一度人材育成計画を強く意識した研修の実施等に取り組みます。

③ やりがいを持って働ける職場環境の整備	
通期	本年度の離職率は20.8%と、一昨年度の27.7%程ではありませんが、昨年度の12.5%からは大きく上昇してしまいました。退職者の内の半数は入職1年未満となっており、採用時には判断できないこともあるためやむを得ない部分もありますが、研修やフォローアップ等さらに検討が必要です。また支援的にご利用者からも職員からも支持を受けていた職員の退職もあり、メンタル面のサポートも含めた職場環境の整備はやはり大きな課題です。
重点目標3 共通の認識・基盤に立ち、高品質のサービスを全体で提供	
通期	強力な推進はできていないと思います。ただし現場レベルでは、マニュアルの整備や様々な意図を持った企画等、地道な取り組みはなされている部分もあります。これらを運営サイドがしっかり受信し広げる役割も果たしていかなければと思います。次年度は会議体の見直しや運営層の積極的な関与、一般職員の取り組みの評価等、具体的な方策を採れるようににします。
重点目標3	① “意味”を確認し業務・支援を遂行
通期	個別支援計画や日中活動、会議体からの企画書等、その意味を問いながら進めている事柄は多いですが、そこを十分意識化しているとはまだ言えません。今後次年度への課題等挙げていく際に、掲げた目標や実施内容（実施できなかった内容）、次にやりたいこと等、その意味を問うていくことを意識したいと思います。
重点目標3	② 業務・支援における“みずきレベル”の確立
通期	みずきの大きな特徴は、一定の医療ケアも含めた重度の身体障害者の生活を支えていることです。喀痰吸引等の研修等、みずきの強みとなる体制整備は進んでいます。一方例えば良質な接遇や理念の浸透、介護レベルの向上・平準化等、「みずきレベル」と胸を張って言えない部分もあり、力点を置き取り組む必要があります。
重点目標4 創造的な発想で、新しい企画・提案を行なう	
通期	目標に沿った取り組みや検討は着実になされていると思います。一方でみずきの組織的な自力が増すような土壌はまだまだ築けていないと言えます。3の目標同様、組織的に取り組みを把握・評価し、活性化する仕掛けが更に必要と考えます。
重点目標4	① 生きがいにつながる日中活動の展開
通期	日中活動委員会でプログラムを立て実行するスタイルが定着してきています。入居支援課では同時に複数のプログラムを設定し、ご利用者が選択の上参加しています。リハ職の積極的な参与も効果を挙げていると思います。通所支援課では、独自の活動は目的意識をもって工夫がされています。現状を評価しより利用者ニーズに沿ったプログラムの工夫や、自立支援や社会参加につながる活動のさらなる充実にも取り組む必要があると認識しています。
重点目標4	② 創造的な提案の推奨
通期	栄養科の誕生日食に代表されるような新しい企画・提案がいくつかの部署・会議体から発案され、実行され（ようとし）ています。提案すること、それが実現されること、その意識の広がりは少しずつ出ていると思います。これらをアンテナを張ってしっかりキャッチし評価していくシステム作りをしていく必要があると考えます。
重点目標4	③ 地域とのかかわり・自立支援
通期	地域コーディネーター設置が二年度目となり、地域とのつながる機会への積極的な情報や機会の提供や参加が始まりました。自立支援については、入居支援課ご利用者への関わりの中で、ご利用者が、ご利用者と、学ぶこと、考える機会を設けています。
重点目標4	④ 障がい者の暮らしを包括的に支える新規事業の構想
通期	地域支援会議がスタートし、上半期は東京都や近隣自治体の障害者計画・障害福祉計画の読み合わせからスタート、下半期は法人内狛江エリアの見学等行ないました。。また経営会議ではみずきの事業展開について検討に着手、運営会議や地域支援会議にて素案を提示しました。しかし中長期ビジョンの策定までには至らず、具体的な行動計画等継続して取り組みたいと思います。

II 生活支援部門

【入居支援課】	
通期	職員接遇に対しての苦情は真摯に受け止めなければならない事の一つです。特にご利用者に対して相手を下に見ているような態度や言葉づかいが目立ちました。また職員が業務中にイライラした感情をご利用者にぶつけてしまう事も多々あり、今一度サービス提供者としてのあるべき姿を考えなければなりません。
生活介護 I	
重点目標1 ご利用者の思いや気持ちを大切にす	
通期	苦情（主に接遇）の対象となる職員はつねに同一であり、利用者支援の根本的な相手を敬うという意識に欠けていると考えられます。一部の職員とはいえ全体として指摘し合えるような環境もなかったという反省としてあげられます。
重点目標1	① 接遇に関する研修
	通期 職員体制が不安定な状態の為実施できませんでした。
	② 相手を尊重した言葉づかいを心がける取り組み
	通期 言葉遣いに気を付ける職員もいましたが、一部の職員はご利用者に対しての言葉づかいや対応がなれ合いになってしまい度が過ぎてしまった事で苦情に発展してしまうケースもありました。また職員間の言葉づかいも乱れていました。
③ 権利擁護(虐待防止)に対する意識を高める	
通期 施設としての内部研修や権利擁護研修推進委員会の活動等様々な権利擁護への取り組みが実施されましたが、意識が高まるころまでは浸透していません。今後とも引き続き権利擁護の推進を図る必要があります。	
重点目標2 介護力、支援力の向上	
通期	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は介護技術のチェックが思うようにすすめられませんでした。29年度に介護技術向上委員会が発足される為、引き続き推進していく事が質の向上につながります。 訴えの多い方が優先される状況はなかなか改善されず、訴える事の難しいご利用者への支援を考える時にニーズを拾う事以外にご利用者それぞれの対応量や時間を整理する必要があります。まずは訴えの多い方々への支援を見直した上で何が出来るかをしっかりとアセスメントしていかなければなりません。 気づきの視点を養う為の取り組みとして職員間の情報交換が出来なかった事と日々の観察や個々の意識が人員不足も相まってそこに向ける事が出来なかったと考えます。
重点目標2	① ユニット会議内で介護技術向上研修を実施
	通期 職員体制が不安定な状態の為実施できませんでした。
	② 介護技術研修を前年度に引き続き実施
	通期 上半期同様人員不足によりチェックの時間が持てない状態だった為改めて平成29年度でしっかりと技術向上を推進していく必要性があります。
③ 訴えの難しいご利用者の支援をアセスメント時に実施し、プラスアルファの支援を提供	
通期 訴える事の難しい方への支援として専門職を中心とした取り組みを少しずつ取り入れることが出来ています。また職員側も以前よりは意識して関わりを持つようになりつつありますが、依然として訴えの多い方々への支援が多い為に対応が行き届かないのが現実です。	
④ 『気づき』の視点を培うための日常の観察ポイントを学ぶ機会を設ける	
通期 当初予定していた時間帯（11：00～11：30）でのディスカッションも現場業務に追われ職員間で集まる機会を設ける事が出来ませんでした。	
重点目標3 外出支援の検討	
通期	季節的な事や天候で外出の希望時期がどうしても重なってしまいました。またケアプランで設定している関係で2回以上外出を希望される方もおり公平性に欠けてしまう事も今後の課題です。
重点目標3	① ご利用者がケア担当と一緒に行き先等を調べる
	通期 職員が主体で進めてしまうケースも多く、もう少しご利用者にも一人で計画を立てて実行する事の大変さを体感出来る進め方が良かったと思います。
② 年に1回ケア担当と行けるよう業務調整、1日かけての外出を取り入れる(希望者のみ)	

	通期	概ね実施出来ました。
重点目標4 職員間の連携を強化する		
	通期	職員間の連携を活発にしていける為にも個々のコミュニケーションが大切になってきますが、人員不足の影響は大きく現場の業務をこなす事が精いっぱい1年でした。また現場には連携を図りチームとして支援業務を行っていくという意識や環境もあまりなかったように感じます。
重点目標4	①	11時のミーティング後、20分程度テーマを決めてミニカンファレンス
	通期	年間を通して人員不足が解消できず意見交換の場を設定する事が出来ませんでした。
	②	連携の強化で職員が互いに切磋琢磨し、何でも指摘し合えるような職場環境作り
	通期	人員不足の影響により職員間の連携体制を上手く機能させる事が出来ず、お互いが指摘し合えるような環境も構築出来ませんでした。
	③	専門支援室を中心とした他職種との連携、定期的な連絡調整、チームとして機能する体制づくり
	通期	専門支援室との連携というよりは専門支援室に所属している各専門職に委ねてしまう事が多かったように感じます。チームとしての機能や役割は課として果たせませんでした。
重点目標5 職員が各々の役割を理解する		
	通期	日々+の業務に追われる中で余裕もなく、自分の役割を果たすという意識を浸透させる事が出来ませんでした。
重点目標5	①	PDCAサイクルに沿ってアセスメントからケア担当が介入し、ケア担当が支援業務の成果や達成を感じられるようにする
	通期	アセスメントはケア担当がサービス管理責任者と一緒にやる流れが定着してきています。しかし、PDCAサイクルに則って進める事は難しくプランの見直しや面談等遅くなりがちでした。
	②	委員会に可能な限り参加できるようシフト調整、課内の係業務も役割や責任を明確にするため業務分担に取り組む
	通期	人員不足により特に男性は責任者以外の職員が委員会に参加する事が難しい状況でした。
短期入所		
	通期	利用率は改善傾向であり、新規利用者も増加していますが、男性生活支援員の不足により、入退所の対応については、課長・短期入所担当（地域C○）が中心となり行いました。又、軽微なヒヤリハットから受傷を伴う事故まで、ヒヤリハット・事故報告も多数発生しています（未報告含め）。原因については、人員不足からの余裕の無さも一つの要因ではありますが、職員個々が、短期入所利用者の障害理解が不足していると考え、職員会議で短期入所調整会議での検討結果等をフィードバックすることで、職員への理解度を高め、ご利用者・ご家族へ「安心・信頼」を得る環境作りを優先して取り組む必要があると考えます。
重点目標1 安定した運営（目標利用率90%）		
	通期	通期の利用率は80.4%（下半期84.6%）でした。半期毎で比較し、上半期より8.4%上昇しています。又、1月の年始（年明け1週間）は利用が避けられる状況で、74.2%という比較的低い利用率でしたが、他の月は、ほぼ80%を超えており、3月については103.2%となっています。（新規利用：11名）
重点目標1	①	短期入所利用情報を積極的に提供
	通期	行政や相談員との関わりを重ねることで継続的な利用についてだけでなく、将来を見据えた体験利用や緊急時の利用についての相談が増えました。介護職にとっても安全に不安なく受け入れが出来るよう他事業所との情報交換や事業所間調整を積極的に行っています。
	②	課職員全員を対象に「短期入所事業」について理解を図る
	通期	職員不足により、短期入所の受け入れ研修の実施は体制上難しい状況にあり、進捗はほぼありません。課内研修についても上半期より進展はありませんが、定期的実施していく必要があると考えています。
	③	受け入れ体制を整える
	通期	年間を通して、短期入所調整会議を実施し検討・課題解決に取り組んできましたが、現場へのフィードバックが上手くなされなかった為、進捗状況は著しいものではありませんでした。次年度より、職員会議にてフィードバックする場を設けて取り組んでいきます。
	④	ご利用者の情報を整理し、情報の活用につなげる

通期	各書類の整理や取扱いについては、整理が進められましたが、短期入所サービス計画書の部署間の確認ルートについては、定着しているとは言えません。周知・理解を更に深め、情報の共有しやすい環境作りが必要です。
	⑤ リピーター獲得に向けて取り組む
通期	利用率・リピーター率については、改善傾向ですが、支援の質については不十分であると考えます。職員配置の改善以外にも、「情報の共有・利用者理解」が主な課題であると捉え、問題解決に取り組む必要があります。

【通所支援課】	
通期	出会い、別れ等経験しながらも、全体的には落ちついた事業運営ができていると捉えています。これまでの取り組みの継続、充実、新しい取り組みも行っており、主任がリーダーシップを発揮し現場中心に、事業計画に掲げた内容が概ね着実に実行されていると言えます。浸透・進化させるための継続、意図・目的をしっかりと伝えてその意義を確認し職員一人ひとりが納得した上で支援に取り組むこと、リスクや介助技術等、基盤の底上げを図ること等が、組織的な課題として挙げられると思います
生活介護Ⅱ	
重点目標1 一人ひとりの思いを大切にしたい個別支援計画の作成及び実施を、職員の連携のもと行なう	
通期	掲げた内容に対する取り組みは進みましたが、「一人ひとりの思いを大切にしたい」という面においては、実感できる成果には至っていないかもしれません。PDCAサイクルを確立し、ご利用者の思いを受け止める取り組みを積極的に推し進める必要があると考えます。
重点目標1	① 個別支援計画の充実
通期	徐々にケア担当が実施の主体となってきています。モニタリングや再アセスメントから、発展的なケアプランにしていくこと、そのためにPDCAサイクルを強く意識することが求められると考えます。
	② 接遇、ご利用者の人格の尊重
通期	5月全体職員会議において、ご利用者の尊厳を尊重した接遇やあいさつ（対ご利用者、職員同士）について研修を行ないました。意識的に取り組む姿も見られていますが、風化させず定着するよう取り組みを継続したいと思っております。ご利用者への強い当りは見られていませんが、一部子ども扱いや本人の意思ではなく職員側の意思を押しつけてしまう場面も見られております。
	③ 支援・介護の統一・レベルアップ
通期	グループミーティングの定着、個別対応マニュアルの更新、マニュアル系の率先した動きなど、意図的な取り組みがなされています。一方で新人職員が多く、基礎介護技術の確認などの取り組みが不足しています。
重点目標2 目的を明確にした日中活動の展開	
通期	具体的な目標に掲げた内容に着実に取り組み、内容の多様化と目的の明確化、職員からの自発的な提案など、成果は見られています。今後も取り組みを進めていきたいと思っております。
重点目標2	① 個別支援・個別活動を通して本人理解を深める
通期	個別支援・個別活動を通して本人理解を深める個別活動について、内容はご利用者に聞いて個々のニーズに合わせたものとなってきています。ただ予定の回数の実施には至っておらず、記録にしっかり残すということも大切です。
	② 外出・行事の計画的実施
通期	初めての平日実施となった日帰り旅行については、課題もあったが計画通り実施でき、次年度以降さらに定着するようにしていきます。職員から発想、発信するという機運も出てきているように感じます。
	③ 通常の日中活動の目的の明確化

通期	Ⅱ課日中活動プログラムについては、利用者懇談会のご意見の取り入れ、曜日対抗活動、地域活動など、目的を明確にした新しい取り組みも加えていきました。
重点目標3 安心・安全、質の高い支援・介護の提供をするための取り組み	
通期	多職種連携という部分では、通所支援課からの発信力を高めていく必要があります。安心・安全な支援の提供について、現場の努力で目標への取り組みは進んでいますが、より高い意識を持てるようにしていきたいと思います。
重点目標3	① 職員連携、チームワーク
通期	リハ職は関係作りをすることを目的に利用者支援に入り、グループミーティングにも参加しています。今後評価や具体的な支援方法等具体的な支援に繋げていくことが課題です。軟菜食の導入に際し、栄養科主任が家族懇談会に参加して試食会を行ないました。他職種との連携や報告等課題がある部分もあり、報連相の確認等進める必要があります。
重点目標3	② 職員研修、研鑽
通期	外部研修については様々な研修に今年度も出かけています。研修の成果を報告し内部で共有することが課題です。OJT、会議等での内部研修には更に意識して行なっていく必要があります。
重点目標3	③ リスク管理
通期	事故ヒヤリハットの法人の基準が今年度から変わり、年度当初は報告数が一時激減しましたが徐々に回復、下半期は報告の検討・対策周知に、リスク係中心に取り組むことができました。
重点目標4 運営体制の見直し、利用目標の設定、職員のフォローアップ→安定した事業運営	
通期	課長の通所支援課への異動の延期、副主任の粕江への異動、サビ管の退職等、運営体制を整えきれない面はありましたが、主任の成長、生活支援員や看護体制が安定化に向かっています。土曜の利用について、運営規程の改定も含め体制を整えたので、安定した運営と利用目標の達成に向けて取り組んでいきます。
重点目標4	① 土曜の営業・入浴の実施
通期	土曜日の固定利用と入浴に実施について、ケアプラン面談時の聞き取り、アンケートの実施、家族懇談会での意見交換、個別の調整等、実施に向けた検討を進め、スケジュール的には予定より遅れましたが、1月から実施しています。
重点目標4	② 利用目標の達成
通期	固定利用者数は2名減少しましたが、市単SSの利用日外利用の増加などもあり、利用実績は目標には届かなかったものの、ほぼ昨年度並みでした。3市とも利用枠に空きがあるので、送迎・入浴の調整など難しい点もありますが、利用目標の達成に向けて取り組んでいきます。
重点目標4	③ 職員のフォローアップ
通期	職員状況は、6月と12月前後に入職者が重なりましたが、次年度に向けようやく職員体制は整ってきました。サビ管の退職は痛手ですが、新体制（課長の異動等）で次年度、安定した体制で臨みたいと思います。
重点目標5 ご利用者の生活を包括的に捉えた地域生活支援の検討・取り組みを進める	
通期	通所支援課のみではなくみずき全体での取り組みですが、検討・構想にあたっては、Ⅱ課ご利用者の地域生活ニーズにどう応えるかが重要です。今年度始まった取り組みを中味のあるものにするためにも、地域生活という視点を持ち続けられるようにしたいと思います。
重点目標4	① ご家族や関係機関との連携、ご利用者の生活を包括的に捉える
通期	地域生活支援に課題があるご利用者に対し、相談支援等の連携を行なっています。ご家族とも必要に応じた連携を行なっています。
重点目標4	② 地域生活を支える事業構想

通期	サービス管理責任者と副主任が地域支援会議に参加しました。地域支援会議は手探り状態でスタートしていますが、具体的な事業構想の検討に入れていないことや副主任の異動等もあり、Ⅱ課の地域生活支援ニーズを事業構想に結びつけられていません。
委託型短期入所	
重点目標 1 包括的な生活支援を意識した支援体制の整備	
通期	三市とも100%前後の利用率で、府中市の新規利用者が増えました。狛江市の一時保護は1件のみでしたが、その心構えもしておかなければならず、市単SSがスタートした当初からは、その位置づけは大きく変わっていますし、重要性や果たす役割も高まっています。救命講習や急変時の対処法、受け入れに際しての慎重で十分なアセスメント等、情報の周知・共有等、ご利用者や夜勤者の不安を取り除く体制整備を更に進めていく必要があります。
重点目標 1	① 安心・安全な支援の提供
通期	緊急時・急変時の対応、市単SSで対応可能なのか、利用前のアセスメントやご家族、医療機関の情報等検討する機会が複数ありました。また服薬介助、持ち物管理等課題はありますが、確認、夜勤者←→日勤者の申し送りをしっかり行なうようにしています。
重点目標 1	② 夜間の生活支援としての事業の再認識
通期	通常的生活介護ご利用者でない方（市単SS中の日中のみ生活介護や日中一時支援を利用されている方）の中には、日中の活動が楽しみだから市単SSを利用しているという方も複数いらっしゃるようです。また家族状況等から市単SSを利用せざるを得ない（利用することによって生活が維持できる）ケースに触れることも増えており、改めて包括的な生活支援という観点で市単SSの意義を確認しています。
日中一時支援	
重点目標 1 事業の位置づけと果たす役割の明確化	
通期	利用実績としては前年度と同程度で、安定していると言えます。医ケアや環境設定等、安心・安全に過ごせる体制整備に力を入れていく必要があります。
重点目標 1	① 医療的ケアの実施
通期	再開した医療ケアについては、生活介護ご利用者1名のみでした。職員への周知が不十分との声が上がっており、改めて確認しながら進めていく必要があります。生活介護同様、医療情報提供書に基づき十分ご家族等と相談しながら進めていきます。
重点目標 1	② 支援体制の整備
通期	デイルームのキャパシティがいっぱいで余裕を持った支援ができないこともあり、実際に日中一時支援ご利用者による接触（受傷）事故も起こりました。環境設定は絶えざる検討が必要です。勤務体制については、17時半を過ぎた退所は夜勤者が行なうように変更し、当初の課題は解消したと言えます。

【サービス管理責任者】

通期	I課については、他職種との連携やPDCAサイクルが少しずつ出来てきていますが、ケア担当者を中心とした形には到っておりません。一方Ⅱ課については、ケアプランの作成はほぼケア担当者が実施できるような状況ができています。しかし、専門職による支援の提供を積極的に提案できていない状況もあるため、次年度以降改めてアセスメントを実施し、支援のあり方に考えていく必要があります。また、都と府中市の指導検査にてケアプランや記録等についての不備の指摘を受けたので、改善できるようにしていきます。
I・Ⅱ課共通	
重点目標 ご利用者の思いを大切にされたケアプランを作成し、支援職が連携して支援を推進できるようにする	
通期	I・Ⅱ課共通して、一部の専門職が職員会議に参加し、ケアプランの検討や情報共有、日常対応上の課題検討などを行う事ができました。次年度もご利用者の意向に基づき、専門的な視点を踏まえ支援の提案および提供できるように努めていきます。

重点目標	①	面談や日々の関わりで捉えたご利用者の思いを支援職間で共有し、ご利用者の思いに寄り添った支援のあり様を考える
	通期	会議等でご利用者の意向や援助内容等の確認や共有を行いました。年度当初や中期の評価時期のみの取り組みになってしまったため、年間を通して進捗の確認等を行うようにできればと考えます。
	②	ご利用者と目標までの支援のプロセスを共有し、支援が着実に実施されるよう支援職に働きかける。
通期	専門職による支援は計画に基づいて概ね実施出来ていました、ケア担当による支援は職員や利用者の意識の程度により差が生じました。人員不足もあり、援助内容によってはその支援を推進するために必要な業務時間が確保できない状況もあるため、働きかけが難しい状況がありました。	
入居支援課		
重点目標1 全てのご利用者に平等にサービスが行き届くよう調整する		
通期	生活支援員による支援の偏りは未だにありますが、看護やリハビリ等の専門職の関わりなどトータルで支援量を考えると、ある程度平等性をもった支援が提供できていると考えます。	
重点目標1	①	全てのご利用者について、支援の必要性について見直す
	通期	日常的な生活支援員による対応は、一部のご利用者のところで利用者満足度が優先されている状況がおきています。一方、専門職による対応については、定期的に会議を行いその時々のご利用者への支援の必要性や対応内容等について確認と共有を行うことができました。
	②	ご要望の多い利用者については優先順位をご利用者と考え、個別での支援が提案できない場合は、日中活動等のグループでの取り組みを提案する
通期	年間を通して、個別支援とグループ支援（日中活動等）をサービス量のバランスを図りながら提供することができました。	
重点目標2 ケア担当者がご利用者の意向やその背景を理解し、ケアプランの立案、支援を推進できるようにする		
通期	ケア担当者の経験や力量によりケアプランを意識して計画通りに推進できたケースと、専門職がケア担当者をリードしていく形で支援が展開されるケースがありました。人員不足により支援を進めるにあたり担当業務を行う時間の設定が難しい状況もケア担当のモチベーションに大きく影響を与えています。	
重点目標2	①	ケア担当者が、ケア会議に参加、アセスメントを改めて行なうことで、ご利用者の全体像を把握、ケア担当者と専門職が協働して支援を提供
	通期	関係職種が一同に集まって会議を実施できたのは年度当初のみですが、中間期には専門職、生活支援員それぞれではありますが会議で支援の振り返りを行う事や、書面上ですが、毎月ご利用者の体調や生活のご様子を共有することができました。
	②	ケアプランの進捗の把握、必要に応じたケア担当者のサポート
通期	会議等でご利用者の日常的な対応については定期的に課題解決の取り組みはありましたが、ケアプランの進捗の把握等については十分にできませんでした。ケア担当とのコミュニケーションも互いに時間的に難しく年間を通してサポートをできたとは言えないと考えます。	
通所支援課		
重点目標1 PDCAサイクルに基づいたケアプランに関する一連のプロセスを課内に定着させる		
通期	PDCAサイクルの定着については、ケアプラン自体の必要性や重要性が、ご利用者・ご家族そして職員に対して伝わっていないように感じられます。そのため、プランを立てたとしても、実施に至らなかったり、中間評価におけるご利用者・ご家族との面談においては、ケアプランに対する認識が低く、ご利用者・ご家族から評価をいただくことは難しいと感じました。次年度以降は、まず、ケアプランに対する意識を高めていく取り組みが必要であると思います。	
重	① ケアプランに関する年間スケジュールの策定、大きなズレが生じないようプロセス管理	

点 目 標 1	通 期	年間スケジュールについては、中間評価は、ご家族の都合による面談の遅れにより終了が遅れ、期末評価は、サビ管の体調不良により開始が遅れましたが、それぞれ約1ヵ月遅れではありますが、終了に至っています。期末評価については、次年度のケアプラン作成の遅れにもつながるため、予定通り実施することが必要です。
重点目標2 ケア担当者が主体的にプランを策定、実施できるよう、一連のプロセスをサポート		
通 期		新入職員に対するケアプランに関する研修は、提案は行いましたが、実施には至りませんでした。職員の入れ替わりが多いことから、どうしても日常支援業務を円滑に行うようにすることが優先となっており、その状況下ではケアプランに関する研修は難しいと判断しました。また、上記でも記したとおり、ケアプランに対する認識も決して高いとは言えない状況です。そのため、書式等の環境を整えるだけでなく、ケアプランへの認識を高めていく事が、まず必要なのではないかと考えます。
重 点 目 標 2	通 期	① ケア担当と、策定前に個別支援計画に関する打合せを実施
	通 期	3月～4月にかけて、全てのケア担当者とケアプラン策定前の面談を実施するとともに、個別支援活動などの内容について、その都度話し合いを実施しています。
	通 期	② ケアプランの実施に際して、ケア担当者へのフォローを行なう
	通 期	個別支援外出への同行など、支援員のフォローを実施しています。

【医務科】

通 期		年間スケジュールに挙げた内容(インフルエンザ予防接種、第2回健康診断)は実施できています。特定行為業務研修や認定登録事務作業は通年の継続事項となります。今年度の不特定多数の者対象の実地研修(1号・2号)は指定の期間内に終了しています。I課、II課ともに重大な医療事故は起きていません。 年度後半でI課看護師の退職が重なり、業務調整をしました。
重点目標1 施設内の連携体制の整備を継続して行ない、業務や役割の定着を図る		
通 期		次年度の組織図変更にあたり、診療所(嘱託医)とI課II課看護師をまとめて医務科となります。従って課題の「動きにくさ」は解消されることとなります。I課では常勤希望の看護師が補充されたため、常勤の役割分担部分の整理、改善が必要となります。
重 点 目 標 1	通 期	① 関連会議等への参加を通して、(感染症など)具体的に連携していく
	通 期	医療に関する助言や意見を言うことで少しは関わりができたのではないかと思います。
	通 期	② 嘱託医との連携や調整、診療記録等の管理
	通 期	記録類の整理は年度内に終了する予定でしたが、途中で退職があり現場業務に入ったため、一部終了できず持ち越しとなっています。診療録や医療系の台帳ファイルは概ね整理できています。
	通 期	③ 外部医療機関との連絡・調整、I課と連携して定期通院や入院にも対応
	通 期	I課看護師(リーダー)と連携して連絡調整等行いました。
	通 期	④ 医療・看護の緊急時情報提供書を修正しながら医療連携に役立てる
	通 期	緊急時ファイルの修正はできませんでした。次年度の持ち越しとなります。
	通 期	⑤ 「看取り」に関する施設方針をまとめ、必要な書類を整備する
	通 期	基本事項については作成しました。細かい修正や介護職員への周知は次年度行います。
	通 期	⑥ 義務化された「ストレスチェック」の第1回を実施する
	通 期	産業医のチェックと対象者への面談勧奨を行いましたが、面談の申し込みはありませんでした。
重点目標2 認定特定行為事業者としての体制維持および研修を継続		
通 期		第2回不特定の者対象の研修は期間内に終了しています。3号研修は少しずつ再開しています。

重点目標2	①	必要な書類を、手順に従って整備、運用、保管。特定行為業務の実施報告書を介護職員が主体となって作成できるよう指導
	通期	実施報告書はまず主任が記載することになり実施しています。
	②	介護職員の業務調整等、I・II課連携して施設内研修を進めていく
	通期	次年度の3号基本研修（講義）は集中して行うよう調整中です。
入居支援課看護		
重点目標1 予防的かわりを通して重症化を防ぐ		
通期	疾病については、重症化は防げていると思います。 皮膚トラブル、特に褥瘡は初期段階で軽快し、重度化はしていません。	
重点目標1	①	日常の健康観察や健康診断、本人訴えや介護職員からの情報を基にした観察により、異常の早期発見に努める
	通期	訴えが不明確な方もいますが、体調不良の訴えにきちんと対応することで見落としは減っていると思います。自ら訴えることができない方については、慎重に観察をしていきます。
	②	管理栄養士や理学・作業療法士と連携し、合併症予防および改善に向けての必要な対処を行なう
	通期	専門室支援ケア会議はなくなりましたが、アセスメントシートにより情報の共有ができています。個別の事例については専門職同士で連携し、問題解決に向けて協力しています。
	③	施設医師と連携し早期対応に努める
	通期	嘱託医の業務分担を行い（看護師主導で分担を決めて依頼しました）、医療処置については混乱なく行われました。
	④	個別に必要な専門科への定期通院を継続し、治療が続けられるよう配慮する
通期	定期、臨時に関わりなく必要な受診に対応し、問題はありませんでした。	
重点目標2 ご利用者の「自立」について医療・看護の側面からの支援を継続する		
通期	次年度の継続事項とします。	
重点目標2	①	個々のご利用者の理解力や思考パターンを把握したうえで、必要に応じた保健指導を個別に計画する。→ご自身の障害・疾患や治療に関心を持ち、主体性を持って（治療に）取り組んでいけるような支援を続ける
	通期	排便コントロールの見直しを実施しています。このかわりを通してご自身のこととして意識できるようになった利用者も複数います。排便コントロールへの取り組みは次度も継続して、「主体性を持つ」ことへの働きかけのきっかけとしていきます。
	②	日常の健康管理にご利用者自身が関わられるような取り組みをしていく
通期	「排便」に関しては、本人の了解のもと、下剤の見直しや排便間隔の調整を行うことで、意識してもらえようになると思います。	
重点目標3 看取りの看護(介護)について検討していく		
通期	方針や方向性、手順に関する文書はできました。具体的な内容の検討はできていませんので、次年度の取り組みとします。	
重点目標3	①	ご利用者本人とご家族の意向を確認する
	通期	年度途中での変更希望はありませんでした。
	②	介護職員との意思疎通を図るため職員会議などでショートディスカッションを行ない、職員の不安解消に努める。
通期	継続事項として、次年度に取り組みます。	

	③ 関連する外部研修に参加する。
通期	後半での研修参加はありませんでした。
重点目標4 組織改編に伴う看護業務の見直しを行なう	
通期	看護業務の内容については次年度も継続して見直しをし、整理していきます。
重点目標4 ① 看護業務内容の整理、見直しを継続して行なう	
通期	組織図の変更に伴い、看護師間の役割分担も変わってきます。次年度も継続して整理をしていきます。
② 看護師が介護職員と積極的に関わり、業務を共有し、連携を深める	
通期	介護職員との連携は概ねできていると思います。
③ 緊急時の対応、オンコール体制について再検討し、介護職員との（対応に関する指導を含む）連携強化に取り組む	
通期	1月以降は常勤看護師が医務科を含めて2名となり、「連携強化」への取り組みは次年度以降の取り組みとします。
通所支援課看護	
重点目標1 安心・安全、質の高い医療サービスの提供と医療関連の事故防止に取り組む	
通期	経鼻胃管の抜去を防ぐために固定方法を検討しました。また、ショートステイ中の利用者の内服薬の管理についても看護師間で統一した形での管理方法にしました。しかし、ほとんどが問題が起きてからの対応になっています。例えば、リスクの特に高いと思われるカニューレフリーの利用者に対しては入浴時看護師がサポートするなどの人的な対応は事前に考え実施できています。ほかのさまざまな状況に対しても事前に起こりうる問題を予測した対応（予防策）が必要であると考えます。
重点目標1 ① 医療職として質の高いサービスを提供	
通期	入院された利用者についてはこまめな情報収集を行い、その周知にも努めました。しかし、大半の利用者については情報の更新も不十分なため、次年度は全員の医療情報提供書の更新というところから実施していきたいと思えます。
② 介護職員への医療ケア研修	
通期	新人職員の入職もあり、研修は継続して実施しています。研修修了後は、医療ケアの実施頻度がかなり減少するため、実施の機会を増やしていくための方法の検討が必要であると思えます。
③ リスク管理	
通期	利用者の状態により職員が安全に支援を行えるようにサポートしていますが、起こりうる問題の予測や対応が不足していると思えます。

【リハビリテーション】

作業療法	
通期	上半期の進捗状況に比べ、下半期の取り組みは、車椅子新規製作や活動の展開などの点で、滞りがちな面がありました。進められている部分とそうでない部分を明確にし、必要な部分への時間配分をしていきたいと思えます。
重点目標1 様々な作業活動の形について検討しながら、「やりたいこと」「できること」をご利用者や多職種と一緒に考えて、その実現につなげていく	
通期	不十分ではありますが、ICT活用での支援を進めることが出来ました。その一方で、ご利用者の「できること」へのアプローチは、進まない状況がありました。研修を受ける中で、ご利用者の生活を、心身機能・身体構造との関係でみる大切さを再確認しました。全体像を捉えなおし、「できること」への手がかりをみつけていきたいと思えます。

重点 目標 1	① 「できる」につなげるための道具・方法の検討や、いろいろな作業活動についての検討を行う
	通期 今年度は、パソコンやタブレットを操作するための情報収集や実際の取り組みに、多くの時間を割きました。パソコンやタブレットを含む道具・方法の工夫をしていますが、個別対応のための工夫には頭を悩ませる現状があり、今後も検討が必要です。
	② 外部研修を受講し、知識・技術の習得に努める
	通期 ICTに関する研修以外は、作業活動そのものに直結する研修はありませんでしたが、場面設定の大切な要素として、シーティングの考え方を活用していきたいと思います。
重点 目標 2	③ 多職種との情報交換を行う
	通期 具体的な作業活動の提案をするまでには至りませんでした。情報交換のなかで発信できる力をつけていきたいと思います。
重点目標2 シーティングに関する技術を高め、車椅子の製作修理を円滑に進める	
通期	上半期は比較的順調に進められていましたが、下半期では、主に業者とのやりとりでスケジュールの遅れが生じ、完成までに至らない場合があります。また、使用中に出てきたご利用者自身が感じる不具合への対応についても、解決できていないものがみられました。引き続き、検討・対応していきます。
重点 目標 2	① 過去の記録から情報収集を行い、製作修理へ活用する
	通期 過去の情報については、順調に活用することが出来ました。今後は、情報収集を効率的に行い、収集にかかる時間を短縮できるようにしていきたいと思います。また、現在の記録の方法についても、今後の製作に活かせる形を検討したいと思います。
	② 外部研修を受講し、知識・技術の習得に努める
	通期 シーティングに関する外部研修を受講しました。目の前のご利用者には、そのまま適応できない部分がありますが、考えるための一歩として活用していきたいと思います。
重点 目標 2	③ 多職種との情報交換を行う
	通期 様々な場面での使用状況をみると、情報を伝えつつもりで終わってしまっている部分がありました。情報の伝え方、受け取り方について考えながら、情報交換を行っていきたいと思います。
理学療法	
通期	移乗を中心に、現状の評価を行ない利用者・職員個々に適した方法を福祉用具の活用も含め検討しています。日中活動での運動は継続して行っていますが、利用者が楽しんで参加できるようにより良い活動を展開する必要があります。
重点目標1 ご利用者が安心して心地よく過ごせるよう、ポジショニング、トランスファーの改善に努める	
通期	ホイストやスライディングシートなどの福祉用具の導入、導入後のフォローを行いました。また日常的な姿勢、移乗の問題点を職員と共有し検討することが出来ています。従来の移乗方法を変更することは時間を要し上手くいかないケースもありますが、継続して行っています。
重点 目標 1	① 外部研修に参加し専門知識・技術の向上に努める
	通期 研修で習得した介助技術を職員と共有するよう介護技術講習会を通して研修を行いました。また呼吸器関連の研修では、神経筋疾患に対する介入方法を学び利用者の支援に活かす事ができました。
	② 生活場面の評価を行い、ポジショニング、トランスファーの見直しをする
	通期 現状の問題点を把握するために多職種と連携し、問題点に対して具体的な働きかけが出来たと思います。従来の方法に拘りがあったり、変化に対する不安があるので利用者の気持ちを受け止めながら支援を行なっています。
重点 目標 1	③ 多職種との情報共有を行い、支援の質の向上を図る

通期	ユニット会議や日々の業務の中で情報を収集し共有することに努めました。受け取った情報に対して対応できなかったケースもありました。
重点目標2 日中活動でのリハビリテーションを展開し、ご利用者の健康維持に努める	
通期	次年度から活動室を活用しグループリハビリを展開します。利用者個々の日中活動として音楽レクや散策を多職種と協働して行っています。個別ではなく集団で活動を行うことで利用者間の繋がりがみられるケースがありました。
重点目標2	① 日中活動で身体を動かす機会を提供し、活動量・運動量減少による機能低下を予防する
通期	一年を通して定期的に日中活動を行えましたが、そこからの展開をすることが出来ませんでした。現在行っている活動をどのように展開するのかを考えていく必要があります。
重点目標2	② ご利用者個々の運動メニューを作成し、多職種と協働して運動を行う
通期	上半期と同様に運動メニューを作成し多職種で共同して行うことは出来ませんでした。

【栄養科】

通期	28年度事業計画の年間計画に沿って概ね遂行出来ていると考えます。28年度から開始した当該ご利用者対象にリクエストされたメニューを提供する誕生日献立の実施により、多くの好評をいただき第三者評価についても高評価につながりました。栄養管理についても、ご利用者の栄養状態や健康状態を管理栄養士による定期的なスクリーニング、アセスメント、モニタリング実施で細かく確認し、状況に応じた食事提供を多職種連携のもと継続して実施しています。調理室内の設備や食器器具等の備品等の大規模な買い替えについても上半期中に実施し、衛生面の向上、作業効率向上等の安定した調理業務実施につながりました。 年間を通して2名の人員欠員が発生してしまった影響で、栄養科職員の研修参加等が出来なかったり、軟菜食やゼリー食等の細部の調整（食べ易さ、味、見た目）まで手が行き届いていない状況のままであったため、人員配置安定後に再度計画していきたいと考えます。
重点目標1 食事の質向上	
通期	誕生日献立については全体意見として高評価となり、第三者評価からも高評価につながりました。食形態の精度向上について科会議等で検討を行い部分的な改善を行ってきましたが、ご利用者、職員、アンケート調査等の回答ではやはり軟菜食やゼリー食に対しての硬さの不安定感、見た目の改善が必要等の意見が無くならないため、29年度も引き続き課題として取り組んでいきます。
重点目標1	① 年1回の嗜好調査及び食事委員と連携したアンケートをもとにメニューを考案、季節ごとの行事食やイベント食、選択食を計画し安心安全で美味しく飽きの来ない食事提供を行なう
通期	平成29年2月に全利用者対象（短期入所を除く）に嗜好調査アンケートを実施しました。嗜好調査及び食事委員と連携し実施したアンケート調査の結果をもとに献立作成を行いました。行事食及びイベント食の提供は年間予定の通り実施し、概ね好評をいただきました。
重点目標1	② ご利用者の誕生日にお好みのメニューを組み込む誕生日献立の提供を計画して実施
通期	28年度から開始した入居ご利用者を対象とする、誕生日献立について多くの好評をいただき、第三者評価においても高評価につながりました。29年度も継続して提供できるよう計画をすすめます。
重点目標1	③ 栄養ケアマネジメントにおいて必要とされる制限食、経口摂取移行食、病時食等を提供する
通期	28年度においても管理栄養士、他職種連携のもとに制限食及び病時食の提供を適宜対応しました。28年度については経口摂取移行食を召し上げる対象者がいなかったため、提供を行っていません。
重点目標2 中長期計画	
通期	調理機器の買い替えにより衛生面、作業効率、電気代等のランニングコスト削減等につながりました。28年度中に購入できなかった10年以上もしくは耐久年数を経過している調理機器については、29年度中の購入を計画していきます。 施設外部への食事提供については、現状のみずき調理室設備のキャパシティを大幅に超え調理室拡張を行わなければ設備増設も難しい状況であるとの結論にいたりましたが、新しい設備及び、真空調理による工夫等の情報収集を継続していきたいと考えます。

重点目標2	① 調理器具の新規購入、買い換え
	通期 28年度計画通りご利用者が利用する食器具の破損等が目立っていたため、5月に全種類買い替えを行いました。 調理機器についてはみずき開設時に導入した冷蔵庫及び冷凍庫4台を8月に買い替えを行いました。
	② 施設外部への食事提供を企画
通期	28年度時点でのこまえ工房等の施設外部への食事提供について、現状のみずき調理室の設備で実施する作業ルーティンを検討した結果、冷蔵庫及び冷凍庫各1台ずつ（もしくは冷凍冷蔵庫）の設備不足、人員2名の不足であり、設備面については現状の調理室内の増設配置についてはキャパシティのオーバーであるため、作業効率の大幅低下が予想されるため、現実的ではないと考えます。実施の際には談話コーナー方面への調理室拡張等の検討も必要と考えられますが、具体的な企画立案には至っていません。
③ 調理職員の積極的な研修参加を行い、介護施設における食事提供の知識、技術向上を図る	
通期	28年度下半期についても栄養科人員配置2名欠員に伴い研修及び施設見学等の実施は行えませんでした。29年度から人員配置1名増員予定のため、人員安定後に再度計画します。
重点目標3 栄養ケアマネジメント	
通期	上半期の栄養ケア計画は成果やニーズを振り返り、見直しを行いました。 下半期の3月時アセスメントでは低リスクのご利用者が5名増え、高リスクのご利用者が1名減り、栄養状態の改善がみられたご利用者が増えました。
重点目標3	① 疾病、栄養状況により、低、中、高リスクの3段階に分類し、個々に応じた必要所要量の食事提供を行うことで、より細かな栄養管理を実施
	通期 入院により体重が減少してしまったり、原因不明の低栄養などで高リスクになったご利用者が数名いましたが、栄養補助食品の追加などにより対応しました。毎月のアセスメント・モニタリングにより体調の変化を把握し食事提供量の調整や病事食の提供など、その都度他職種と連携し対応しました。
	② モニタリングシステムを確立し、多職種との情報共有により、栄養状態の変化に応じたスムーズな対応を行う
通期	健康情報・モニタリングシートの記入を年間を通して実施しました。ご利用者の健康状態に関する情報や変化が一括して見られるようになり、介護食と専門職の情報共有ができました。
③ ご利用者参加の栄養講習会を実施し、食への関心や栄養管理意識の向上を図る	
通期	11月に「感染予防」の専門職講習会を実施しました。

【地域コーディネーター】

通期	施設外に出ることで人や地域を知る機会を得ることが出来ました。人や地域を知ることは情報収集だけでなく繋がりをも強め、個別、自立、地域支援いずれの支援においても、有効活用できる取り組みであると考えます。施設内における支援は固定的ではなく、流動的な関わりになってしまいますが、ご利用者が困った状況や不安な状況になった時、相談に対応できる土壌を作る為にも施設外への関わりを強めていきます。
重点目標1 地域や社会資源を積極的に活用した支援を提案	
通期	生活の質の向上や拡がりを積極的に求めないご利用者にとっては、情報を提供するだけでは活用に繋がる事が難しい状況であると感じ、実際にどのように活用するか方法まで提案しました。
重点目標1	① 地域や社会資源の情報提供
	通期 掲示物や個別相談等を通じ、地域や社会資源の情報提供を行っています。
② 資源を活用した支援の提案	

通期	障害があるが故の悩みや不安など、同じ障害を持つ者同士で話しをする中で解決することや話し合いの中で自分の力を引き出していけるような時間になるようピアカウンセリングの活動を提案していますが、入居支援課においては話される内容が別の方向に進んでしまった状況にありました。途中より参加をやめたご利用者や活動内容について疑問を持つご利用者もいた為、今年度行っていた内容は一度終了とし、本来の活動に修正し活動機会の提案をしていきます。地域支援課においては、カウンセラーや活動参加に対する不安がありフロア開催を実施してきましたが、ご利用者とカウンセラーと話しが出来るような関係になってきていることから、今後は活動室に場所を移し実施していきます。
	③ 活用方法等の相談を受ける
通期	年間を通し相談に対応しています。相談内容は多岐にわたりますが、言葉の理解、思考の整理等の内容が多くありました。
重点目標2 個別の特性に合わせた支援の機会を提供し、自立支援を進める	
通期	ご利用者の理解能力から学んだことを知識として留めておくことが難しく、その知識を理解し活用する段階には至れず、スキルアップの為の支援提供はありませんでした。
重点目標2	① 考える機会を提供
通期	自分達の暮らしについて考える機会として利用者有志ミーティングを実施しました。みずきを知る為、職員の役割理解の学習ではサービス管理責任者、課長、栄養士を招き、話しを聞く事が出来、改めて支援について知ることも多く充実した時間であったと参加ご利用者から意見がありました。障害により得た知識を留めておくことが難しい為、何度も同じ振り返りを繰り返しますが、少しずつ理解に繋げる為にも今後も情報を知る機会、考える機会の提供は必要であると考えます。
	② スキルアップするための体験機会を提案
通期	活動状況が機会を提案する段階にはない為、年間を通して提案はありません。
	③ 方法の情報共有をするために、他者の体験を聞く、見学する機会を提案
通期	活動状況が機会を提案する段階にはない為、年間を通して提案はありません。
重点目標3 地域で安心して生活できる環境作りに取り組む	
通期	今年度の取り組みは、障害者が地域で安心して生活できる環境を作るという目標に近づく第1歩として人や地域を知り繋がり作りをしてきました。今後も誰もが安心して生活できる環境を作る為の取り組みとして地域活動など人と関わる機会へ積極的に参加していきます。
重点目標3	① 地域と施設をつなぐ取り組みとして地域活動に積極的に参加
通期	地域の人との出会いは自らが意識して外に出るといった行動がなければ無に等しい状況であり、限られた機会ではありましたが、地区懇談会への参加は顔見知りになる機会となり、障害者施設がここにあるということを知ってもらう機会にもなりました。今後は地区懇談会だけでなく、地区イベント等にも積極的に参加し、繋がり作りをしていきます。
	② ボランティア活動を通して人とのつながりを深める
通期	ボランティア活動を通して近隣小学校だけでなく、社会福祉協議会や他事業所との出会いもあり、障害者施設がここにあると知ってもらう機会となりました。この出会いをどのように活かしていくのが今後の課題です。
	③ 相談支援事業所等の連絡会に参加し、地域情報や障害サービスのニーズ収集を行う
通期	上半期に続き、下半期も継続して情報収集を行っています。今後も継続し情報を蓄積し、地域福祉サービスへの新規構想に活かしていきます。
	④ 新規事業の開拓を含め、施設が事業として何に取り組んでいくのかを考える目的を持った地域支援チームを発足させる
通期	今年度は近隣市の福祉状況を学び、施設見学を通し、事業構想固めに取り組みました。具体的な構想を持つことが難しく、施設見学においても見学先を選定出来ず、参考に出来る程の情報を収集することができませんでした。来年度はどのような事業に取り組んでいくのかを選定し、情報収集に努め、構想の具体化を図っていきます。

Ⅲ 管理部門

【管理課】

通 期	<p>毎月の課会議において事業計画の進捗確認と忌憚のない意見の出し合いにより、課員への浸透と滞りの無い実施を心掛けて来てました。特に「おもてなし力の向上」については、利用者、家族、来客者への挨拶と声掛けを課員が全員意識して取り組むことができました。結果、もてなしの姿勢の向上は徐々に見られています。</p> <p>全体的には、下記のとおり踏み込んだところで見ると各目標毎には問題、課題等はある、また、細かな点では未達成となったものがあるものの、概ね事業計画は達成できたものと考えます。</p>
<p>重点目標1 利用者、家族他外部の方に対する、もてなしの姿勢の向上</p>	
通 期	<p>もてなしの姿勢、心地よい関係を提供する観点において、課員はこの一年間意識して行動してきました。管理課職員への不満指摘は一部ある様で、管理課職員個々の自覚と行動に問題を残しているが、課内での忌憚のない相互指摘を続け、意識改善に努めています。また、不審者への防犯対策を検討し、実施に向け予算化し次年度には展開する段取りになっております。</p>
重 点 目 標 1	<p>① 利用者、家族、来客者及び職員に対し、「思いやり」「心遣い」「気遣い」「つながり」を常に意識し、相手に大切にされていると思って頂ける様、相手の思いを真摯に受け止め、声かけや挨拶などの働きかけを積極的に行い、相手の心を感じ取り、居心地の良いみずきのおもてなし力を向上させる</p> <p>職員個々の意識は向上し、掛け声の実施はできてきたが、相手の心を感じ取る前に自分の心が優先し、真に心遣いのある対応ができていないのではないだろうか。また一方的な声掛けの良し悪しを反省する反面、利用者・職員そして外部訪問者にどこまでの気遣いが必要とされるか、なかなか難しい課題であった。人の心に触れる事の結果は、受け取り側の心持により評価がブレるものであり、管理課職員個々に対する指摘もあり、「もてなし力」の向上はまだ十分とは言えない。これらは管理課職員以外の職員にも共通した課題である。</p>
<p>重点目標2 良好な施設及び職場環境の提供</p>	
通 期	<p>今年度、耐久限度と言える設備の修繕が頻繁に発生し、対処してきたが、中でも大きな修繕や切替を要する設備劣化が目立ってきている。開設13年を経て、現象がなくとも耐用年数を考慮した修繕・切替計画を確実に先行し事前処置をする必要がある。次年度に予算化した対応が必要である。なお、環境改善の一環として課内文書ファイリングの見直しを始め、適切な文書保管期限ルールに従い整理を実施しました。</p>
重 点 目 標 2	<p>① 適切な施設整備の保守・維持・更新及び提案、改善等により居心地の良い施設・職場環境を整える</p> <p>物損に対する適切かつ迅速な報告が為されず、その結果、使用する職員自身が迷惑を被る事態が多く見られ、設備の不具合、物損時の処理ルールが杜撰になってきている。みずきの設備は全職員が利用せざるを得ないものである事を共通認識とし、設備劣化の事前把握の強化を図ります。また、ルールの見直しと連携継続、環境整備の一環、そしてみずき品質の向上に向けた文書管理の課内運用を始めており、次年度以降には事業所展開のできるよう取り組みます。</p>
<p>重点目標3 課内及び他部署・他事業所との連携強化</p>	
通 期	<p>課員に情報を取り込み、行動に反映させる意識は出てきている反面、与えられた情報量に対し不満を持ちがちだが、情報量、情報密度に関係なく、察することによる連携や臨機応変な対応に消極的であり、行動の範囲が狭まっている。来期は、積極的に取り巻く環境と情報に興味を持ち活動することにより自然な課内連携を図りたい。</p>
①	<p>朝礼・課会議にて情報共有・問題意識の統一を図る。毎月曜日は他部署の状況把握をして連携に努める</p>

	通期	より有意義な情報活動のためには日々業務の中で常に問題意識を持ち、得た情報や疑問点を積極的に発信し、自分なりに考え、組み入れ意思表示する姿勢や努力が必要です。単なる情報の連携アイテムの消化に加え、個人的な行動のパターン化ではなく、より職員同士のコミュニケーションを強化し、本来の諸事を幅広く共有した行動の同ベクトル化を図る必要があります。管理課課員の連携保持をこれからも課題として続けます。
重点目標3		② 法人事務会議を通し、足立ブロック・狛江事業所との業務連携を図る
	通期	法人事務連絡会議を通し、会計・労務・修繕・給付費関係・各種申請業務等の多岐にわたる分野での検討・調整・情報提供を受け、足立ブロック・狛江事業所と連携し、課内業務を円滑に進めることが出来ました。
		③ 受給者証の期限管理、預り金の不足連絡、利用者負担金について等他部署の側面支援、狛江事業所のバックアップ
	通期	狛江事業所のバックアップとして下半期は各サービス業務の請求関係と会計処理の一部における相談支援システム導入と本格稼働の支援を行いました。給付請求において誤請求が発生しており、担当者と行政との確認を強化していきます。また、児童版システムの導入も検討していきます。他部署支援として直接的な利用者支援業務はできないものの、外出（散歩）付添い、通院送迎などの側面支援を行いました。中でも突発的な支援依頼も少なくなく、迅速に対応し協力体制を作ってきました。
重点目標4 課内業務の適正な処理及び効率化・精度向上		
	通期	利用料について一部利用者事情により回収は遅れたものの、業務精度・削減活動等において、適切な改善発信及び自助努力により成果を挙げてきた。これらルーティンとして当然な業務活動であるが、これからも費用削減・業務改善は強化して実施していきます。
重点目標3		① 担当業務（請求、経理、労務総務）を正確に迅速かつ慎重に期限までに行う
	通期	請求・会計・労務・総務・勤怠業務に関し、各業務の進捗状況を共有し、協業出来る部分を協力し合う事により、効率良く滞りなく処理を遂行しております。次年度は、業務の共有を進め協業体制を強めて行きます。なお、経費削減においては使用量・料金等を数値化掲示による効果や担当者努力もあり対前年削減を達成しております。
		② 業務効率、精度の向上に努める
	通期	外部研修会、説明会に参加した結果を課会議で情報交換を行い、業務に取組み活用してきました。また、各業務の見直しを処理毎に行われ効率を図ると共に、会議等での検討材料としてきたが、大きな効率的な業務改善には及んでいない。しかし、これからも業務効率アイテムの抽出を常に考える環境を持ち続けて業務遂行を行います。
		③ 法制度の動向に目を配り、収集した情報を多角的な視点を持って分析し、正確な処理を行う
	通期	今年度は、請求・労務・会計関係でいくつかの法改正があり、法人事務会議、課会議での調整および情報収集、報連相を通し情報共有を行っており、年度の処理上で問題なく運用できました。全課員が情報を有機的に共有し、職員への情報を発信し、行動・協業できるよう次年度も取り組みます。

IV 会議・委員会

【人材育成会議】

会議日		検討・実施内容
4月	13日	今年度の計画について検討しました。
5月	11日	新人研修後のアンケートについて検討しました。
6月	8日	新人研修後のアンケート、見学研修について検討しました。
7月	13日	見学研修について検討しました。
8月	10日	みずき全体の人材育成の課題と、マニュアル作成について検討しました。
9月	13日	上半期の振り返りを行いました。
10月	12日	中間報告と人材育成会議の今後について検討しました。
11月	9日	会議体の在り方について検討しました。
12月	14日	今年度の課題抽出を行う。
1月	11日	次年度の構成について施設長より説明を受け、次年度事業計画について検討しました。
2月	8日	次年度メンバーが参加し、事業計画と新職オリエンテーションについて検討しました。
3月	8日	29年4月3日の新人研修のプログラム、29年度みずき人材育成計画について検討しました。
総括		
通期	<p>全体必修研修自体は計画した研修を年度内に行う事ができました。しかし、入居支援課で全体必修研修に全て参加できた職員は少なく、面談も実施できませんでした。個人研修計画シートの提出も部署によってばらつきが出ている状況でした。</p> <p>基礎介助研修も下半期は進めることができませんでした。</p> <p>会議自体も、人材育成で検討すべき事が幅広く、的を絞れなかった印象です。</p>	
重点目標1 研修計画を着実に実行し、知識・技術を高めるだけでなく働く意欲に繋がる人材育成を目指す。		
通期	<p>当初の計画と時期がずれることは有りましたが、年度内に計画した研修は全て行う事ができました。しかし、I課の職員の多くはシフトを合わせる事の難しさから2年間で全ての研修を受け終えるには至りませんでした。面談は通所支援課では行う事ができましたが、入居支援課では行う事ができませんでした。</p>	
重点目標2 「みずき水準」と胸を張って言える標準化を推進し、誰もが同じレベルの支援を行える取り組みを行う		
通期	<p>基礎介助研修は入居支援課では年度を通して進める事ができませんでした。通所支援課でも水準の明確化は進んでいません。上半期報告で挙げた入居支援課のパソコン・間接業務マニュアル作成も進めることができませんでした。</p>	
重点目標3 キャリアに合わせて配置されている人材育成担当者が連携し、育成層に合わせた課題を具体化して検討と研修の実施を行い、解決に臨む		
通期	<p>人材育成会議で、みずき年間計画の検討だけでなく、現場の課題についても触れたり、今年度は結局どれに手をつければ良いのか手探りのまま終わった印象です。</p>	
重点目標4 新人育成については当会議メンバーと管理職が中心となり、心のケアと育成に力を入れる		
通期	<p>入居支援課では新人の面談の実施しました。しかし以降のフォロー体制が明確になっていない為、今後各課で検討する必要があります。</p>	
重点目標5 法人の人材育成計画に携わり、研修に参加し各施設職員の交流を通して視野を広げる		
通期	<p>上半期から継続して各部会に2名ずつ参加しました。指導職員研修部会は2月の経営者会議で発表を行い28年度分は終了となりましたが、事業運営研修部会は29年9月まで継続となります。</p>	

【予算管理会議】

会議日		検討・実施内容
4月	25日	平成28年3月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 27年度決算
5月	26日	平成28年4月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告
6月	23日	平成28年5月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 資金収支計算書読み方1 予算意識の向上について

7月	28日	平成28年6月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 四半期執行状況 予算意識の向上について
8月	28日	平成28年7月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 I・SS・II課利用者稼働率 各課・委員会予算要望に対する執行率
9月	22日	平成28年8月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 I・SS・II課利用者稼働率 各課・委員会予算要望に対する執行率
10月	27日	平成28年9月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 I・SS・II課利用者稼働率 各課・委員会予算要望に対する執行率 半期執行状況
11月	24日	平成28年10月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 予算意識の向上
12月	22日	平成28年11月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 予算意識の向上 平成29年度予算編成について
1月	26日	平成28年12月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 予算意識の向上 平成29年度予算編成について
2月	27日	平成29年1月度月次報告 資金収支計算書 事業活動計算書の報告 予算意識の向上 平成29年度予算編成(1次集約)
3月	-	-
総括		
通期	毎月収支報告実施を行った結果、会議体メンバーにみずき運営の収入・支出・収支への認識が一步踏み込んで意識付けが出来たと思います。予算執行についても毎月職員掲示板に使用率の発信を行い、一部の職員ではあるが着実に予算への意識浸透に繋がれたと思います。しかしどのような経営分析手法がみずきの運営にとって適切なのか課題となりました。	
重点目標1 職員全体の予算への意識づけに繋げる		
通期	職員掲示板により毎月予算の執行状況の報告を行いました。上期以降、少しずつではあるが職員に予算つまり、「物品購入」に対する意識付けが一步ずつではあるが意識づけ変化がありました。今後どのように全職員に浸透させるか課題となりました。	
重点目標2 経営を意識した分析・指標の模索、検討を行い経営に寄与します		
通期	一般的な経営指標である、資金収支計算書、事業活動計算書でみずきがどのような経営状態であったかの報告を実施しましたが、この財務2表だけでの経営分析には疑問がのこり、みずきにとってよりよい指標は何なのかを今後とも検討・模索をする必要性が明らかになりました。	

【リスク管理会議】

会議日	検討・実施内容
4月 27日	①夜間想定避難訓練 ②BCPの見直し ③備蓄品 ④非常時の電源、ガスの確保について
5月 25日	①夜間想定避難訓練 ②食中毒予防月間内容検討 ③救命救急講習 ④備蓄品 ⑤BCPに見直し
6月 22日	①設備・備蓄品等点検訓練内容の検討 ②食中毒予防月間進捗確認 ③BCPの見直し ④備蓄品の確認 ⑤見学研修
7月 27日	①設備、備蓄品等点検訓練反省 ②BCPの見直し ③見学研修 ④食中毒予防月間の取り組みについて
8月 24日	①総合防災訓練内容検討。②BCPの見直し・メーリングリスト・備蓄品・非常電頭について
9月 28日	①総合防災訓練内容確認。②BCPの見直し/メーリングリスト・備蓄品 ③防犯について
10月 26日	①BCPの見直し/メーリングリスト・備蓄品②防犯について③感染予防月間の取り組み
11月 23日	①防災訓練②BCP・備蓄品③防犯④事業計画課題抽出について
12月 28日	①防災訓練②防犯意識向上月間の取り組み③BCPについて
1月 25日	①防犯意識向上月間の取り組み②防災訓練の反省③次年度事業計画・予算について
2月 8日	①次年度予算②防犯について③地震想定総合訓練について
3月 10日	①次年度事業計画②検討優先順位について③普通救命講習について
総括	

通期	非常時におけるマニュアル作成について、具体的に現場周知できるマニュアルはできませんでした。緊急時の連絡手段（サイボウズLIVE）の使用の方向性の確定や防犯に関わる事項に関して少しずつ着手し、次年度より現場へのフィードバックが成される状況となりました。ヒヤリハット/事故報告については、職員への意識向上に繋がった対策はとれず、次年度の課題として取り組む必要があります。
----	---

重点目標1 非常時対応マニュアルが現場に根付くよう取り組みを進める

通期	非常時の連絡手段として掲示板『サイボウズ』の使用が決定し、適用範囲（副主任以上）も決定する。運営会議内にて使用方法の確認等の周知を実施しています。現状では、対象職員全員に周知されている状況ではない為、改めて周知の強化を図ると共に、試行訓練の実施を行うことで、現場に根付き、非常時にも有効的に活用できる対策が必要です。
----	--

重点目標2 ヒヤリハットを形骸化させず、大事故防止に活かせる取り組みを進める

通期	ヒヤリハットの件数については、当初各部署2桁以上報告されていましたが、徐々に減少し、最終的に報告が1桁台がほとんどとなってしまいました。ヒヤリハット通信についても、現場で読まれている、対策に繋がっているとは言えない状況です。次年度は、職員の意識へ働きかける対策が必要です。
----	--

【安全委員会】

会議日		検討・実施内容
4月	27日	①従事者登録、研修実施状況、事故・ヒヤリ報告 ②業務実施状況報告書や研修の進め方
5月	25日	①従事者登録、研修実施状況報告、事故・ヒヤリ報告 ②3号研修の進め方
6月	22日	①従事者登録、研修実施状況報告、事故・ヒヤリ報告 ②1・2号研修の同意書提出について
7月	27日	①従事者登録、研修実施状況報告、事故・ヒヤリ報告 ②財団への確認事項について
8月	24日	①従事者登録、研修実施状況報告、事故・ヒヤリ報告 ②退所、変更届など財団への確認事項の報告
9月	28日	①従事者登録、研修実施状況報告 ②研修途中の退職や不特定基本研修修了者の実地研修について
10月	26日	①従事者登録、研修実施状況報告 ②I課SS利用者の研修計画について③中間報告のまとめ
11月		開催なし
12月	28	①従事者登録、研修実施状況報告 ②基本研修免除の職員の実地研修について
1月		開催なし
2月	22日	①従事者登録、研修実施状況報告 ②次年度年間予定、研修に関する予定確認
3月	22日	①従事者登録、研修実施状況報告 ②3号研修の計画、不特定研修の申し込みについて確認

総括

通期	<p>特定行為業務従事者登録状況</p> <p>不特定の者対象 I課 5名 II課 4名</p> <p>特定の者対象 I課 21名 II課 11名</p> <p>基本研修、実地研修の進捗状況</p> <p>不特定の者対象 I課 基本1名 実地2名 II課 基本2名 実地1名</p> <p>特定の者対象 I課 実地2名 II課 実地3名</p> <p>3号基本研修については、I課とII課合同で実施する方向で検討しています。</p>
----	--

重点目標1 介護職員等による喀痰吸引等の実施を、安全・確実にこなっていく

通期	年間を通して、研修に関する重大なトラブルは発生しませんでした。
----	---------------------------------

【日中活動委員会】

会議日		検討・実施内容
4月	28日	次月以降日中活動スケジュールはパソコン上で作成の上、各自確認。第2金曜日完成。
5月	26日	園芸:夏野菜と花の植え付けを実施。I課:散策について運営会議にて了承を得て開始。
6月	23日	園芸:花壇作成について運営会議にて了承を得る。（整地のみ業者依頼、実施予定。）
7月	28日	畑にて収穫された野菜を利用者へ提供。II課:音楽療法を再開。
8月	25日	I課:散策は夏季期間中止。（会議は人数不足にて中止。）
9月	22日	スケジュールは訂正を減らす為、翌月以降2か月分を作成し予め確認して反映させる。
10月	27日	I課:散策を再開、継続の為利用者話し合い実施。II課:園芸はみずき祭りと同サンライズミコと連動企画実施

11月	24日	上半期の見直し/園芸に関しては整地について見積書を出してもらう予定。
12月	22日	I 課:音レク開始/II 課:地域活動開始(ゴミ拾いなど) 29日:餅つき実施。
1月	26日	I 課:みずきもっと知りたい会は自由参加のメニューへ変更。II 課:地域活動継続実施。
2月	23日	I 課、II 課日中活動会議を分けて実施開始。(会議は人数不足にて中止)
3月	23日	園芸:整地開始。4月初旬にて工事終了予定。

総括

通期	<p><I 課>利用者が意識して活動参加する、「目的・楽しみ」は個人差が大きいものです。視点を改めて考え直してみる必要があるように思います。活動参加そのものに目的や楽しみを持っている利用者も居るのではないかと考えます。生活の中で「何もない。」ではなく活動参加すること自体に意味がある場合もあると思います。さまざまな視点から日中活動提供、メニューの継続と検討をしていく必要があります。</p> <p>また、日中活動の特にケアプランに基づいた個別プログラムの職員理解と把握は次年度の課題になります。</p> <p><II 課>今年度で「選択」の問題が解決されなかったことが次年度でも大きな課題とします。今現在は「参加する」「参加しない」と選択しかなく、「参加しない」利用者が取り組むことがない。または、同フロア内で活動を行っている為、なんとなく参加して形になりたり孤立感を感じることもある。</p>
----	---

重点目標1 やる気・生きがいを感じる活動の提供

通期	<p><I 課>利用者のやる気、生きがいを感じる活動を意識しました。活動への参加人数は変わらず見られている。利用者からの「こんなことがしたい。」「このメニューが楽しい。」などの意見を聞く機会がなく、やる気や生きがいを感じる活動とするには、もう少し検討が必要です。散策に関しては参加利用者同士での話し合いにより、上半期より意識した参加をされている様子がありました。またGスペースでは特にライブDVDなどを流すと、利用者の反応が良く楽しまれている様子があります。特に、参加型メニューへの参加が難しい利用者への活動提供(メニュー)として良い内容だったように思います。</p> <p><II 課>やる気生きがいを感じる活動には到達できず、準備段階の年度となった。園芸に関して畑を聖地し、次年度より作物を作る予定。地域活動に関しては参加後、利用者の満足そうな表情や笑顔が見られた。自主的に参加される方も多かった。</p>
----	---

【権利擁護研修委員会】

会議日	検討・実施内容
4月 18日	今年度の活動計画、内部研修について検討。外部講師を招いての講習会の企画検討。
5月 16日	内部研修について検討。意見カード(キャッチカエル)の作成と、募集した意見の活用について検討。27年度実施した内部研修の周知方法について検討する。
6月 20日	内部研修の目標と課題について検討。広報誌(サンライズ)に権利擁護研修委員会を紹介する記事内容について意見交換を行う。
7月 18日	内部研修の目標「気配りを持って権利擁護の目を育む」課題「連携」と決定。内部研修について検討する。
8月 日	中止。※責任者不在のため
9月 19日	上半期の振り返りを行う。意見カードに投稿された内容を確認する。
10月 17日	キャッチカエル意見投書の返答見直し。内部研修の実施内容を決定。
11月 21日	キャッチカエル意見投書の返答確認。外部講師を招いての講習会について検討。活動計画書(内部研修)の内容確認。12月に実施する内部研修を委員で実践し最終確認する。
12月 19日	内部研修実施(テーマ/傾聴)
1月 16日	内部研修実施(テーマ/傾聴)
2月 日	2月より新体制。
3月 24日	権利擁護に関する講習会。外部(多摩療護園 園長)より講師を招く。

総括

通期	<p>気付きカード(キャッチカエル)にて意見を求めた結果、個人批判、施設の運営批判、現場関係の不平不満といった意見が寄せられた。利用者支援の良いところ、改善したいところなどの意見は皆無であった。</p> <p>ひとつひとつの意見に対して返答し、掲示する。情報の伝達や会議の意義、施設設備、服装に関してといった意見があり、それらの疑問が職員間の協調性を妨げて、利用者支援へ影響を及ぼすことにもなりえない。ひとつ疑問を改善することで、利用者へより目線を向けた職場環境の構築を目指していきたい。</p>
----	--

重点目標1 職員の権利擁護に対する意識を向上していく取り組みを行う

通 期	本年度は傾聴に支援をあてた内部研修を行った。「聴く」ことに対する技法を演習形式にて学ぶ機会となった。3月には外部より多摩療護園 園長を招き、権利擁護に関する話しを他施設での視点にて学ぶために講習会を開催する。
--------	--

【行事委員会】

会議日		検討・実施内容
4月	21日	①お花見会の振り返り ②バーベキューについての検討
5月	19日	①バーベキューの内容確認 ②みずき祭りの企画の検討
6月	16日	みずき祭りの企画（出店、販売物、イベントについて）
7月	21日	みずき祭りのイベント、販売物などの内容の確認
8月	18日	みずき祭りの活動計画書の確認、役割分担の決定
9月	15日	みずき祭り実施要綱の確認、みずき祭りまでの予定の確認
10月	20日	みずき祭りに向けて、変更箇所と再確認。
11月	17日	みずき祭りの反省会と12月のイルミネーションについて検討。
12月	15日	イルミネーション点灯、消灯について。引き継ぎの内容について。
1月	日	会議未実施
2月	日	会議未実施
3月	日	会議未実施
総括		
通 期	入居支援課と通所支援課のご利用者の交流の場は、行事時以外でも実施していると思いますがそれぞれのご利用者に合わせた交流の場を考えられたらと思います。全てのご利用者が満足できるものを一つの行事に取り入れる事は難しいので、できなかったご利用者の希望を次にへと繋げられたらと思います。	
重点目標1 ご利用者同士の親睦を深める		
通 期	それぞれのご利用者の思いがあり、ご利用者同士の関係性もある中でご利用者同士の間に入り、職員が理解を持ち、手助け、協力できるようにすることと思いました。	
重点目標2 ご利用者を主体とし楽しめるような行事を計画していく		
通 期	作品製作、装飾製作、歌などの発表とそれぞれのご利用者の希望を実現でき、メニューについても意見をとり入れられ、楽しむ事ができたと思います。製作、発表の場として職員の協力が不可欠と思います。	

【食事委員会】

会議日		検討・実施内容
4月	日	年間計画の実施に向け、スケジュール、方法、役割等を検討
5月	14日	①「食事介助、トロミについての研修」の内容、スケジュールなどについて ②利用者意見の事例検討
6月	2日	①イベント選択食の方法の見直し ②食事介助講習の方法について
7月	7日	①食事介助講習の方法、内容について ②利用者意見の事例検討 ③食事用おしぼり導入について
8月	8日	①食事用おしぼり導入について ②外部見学研修について ③イベント選択食の方法の変更 ④乳製品不可の方の代替食について
9月	11日	①食事用おしぼり導入の経過報告 ②イベント選択食の方法の変更 ③外部見学研修について経過報告 ④冷凍デザート提供について
10月	6日	①食事用おしぼり ②外部見学研修 ③引出しの整理・キッチン棚の清掃
11月	3日	①食事用おしぼり ②外部見学研修 ③軟菜食 ④利用者アンケートから事例検討
12月	1日	①食事用おしぼり ②外部見学研修 ③軟菜食 ④利用者アンケートから事例検討 ⑤次年度に向けた課題抽出
1月	5日	①食事用おしぼり ②施設内研修 ③次年度課題
2月	日	以降、次年度へ引き継ぎ
3月	日	

総括 安心・安楽・安定した食の提供。そのための体制づくり	
通期	衛生管理や意見の聞き取り等の継続的な業務は継続できたが、食事介助の改善については、実施できず。計画の段階で目的や方法、問題点等をもっと明確にする必要があった。利用者の高齢化の為、摂食・嚥下の重要度が高まる事が考えられる為、今後の課題としたい。また、職員数の減少から委員会職員の調整がつかず、会議を実施できない月もあり、委員会業務に支障をきたす事あり。
重点目標1 利用者への食事の提供状況の改善	
通期	目標未達成。外部研修を受講した時期が後期であり、準備の為の時間を設けられなかった為、内部研修は実施できず。研修に関しては、目標設定時、目的や実施のイメージが明確でなかった様に思う。利用者個別の意見から問題点を検討し、職員への注意喚起や周知、他部署との相談等で改善を図る。
重点目標2 食事環境の整備	
通期	衛生管理は実施。消毒・清掃の為の時間を設ける事が難しい為、課全体での実施を検討するが、至らなかった。間接業務職員と少しの連携がとれたので、今後、協働できる方法を検討したい。
重点目標3 利用者意見聞き取りアンケートの継続	
通期	目標は達成。会議での検討を実施し、改善に努める事が出来た。来期も継続を予定。

【健康管理委員会】

会議日	検討・実施内容
4月 11日	菖蒲湯について・アロマ湯・口腔ケア研修内容・個人持ちPトイレの消毒について検討
5月 9日	菖蒲湯振り返り・アロマ湯・口腔ケア研修・備品消毒チェックリスト・その他について検討
6月 13日	アロマ湯・口腔ケア研修・備品消毒についてのマニュアルについて検討
7月 11日	アロマ湯（入浴液決定）・口腔ケア研修内容・備品消毒についてのマニュアルについて検討
8月 8日	アロマ湯（入浴液使う量計算）・口腔ケア研修・備品等消毒について検討
9月 12日	STによる口腔ケア講義・アロマ湯実施の確認
10月 10日	アロマ湯について振り返り・口腔ケア研修・一課の備品の消毒、清掃・柚子湯について検討
11月 14日	柚子湯・口腔ケア研修・一課の備品の消毒、清掃について検討
12月 12日	口腔ケア研修について振り返り・柚子湯・一課の備品の消毒、清掃について検討
1月 日	会議なし
2月 日	会議なし
3月 日	会議なし
総括	
通期	入浴イベントは特に問題なく通りすべて終了。 口腔ケア研修については無事行う事が出来たが、職員の全員参加は出来ず。会議内職員が把握しきれていない事もあり、アンケート用紙を配り忘れ回収に時間がかかる事もあった。アンケートについては質問や疑問点をあげている職員は特になかった。 重点目標3について。毎会議の中で話し合いを設けたが、大きな改善をする事ができなかった。色々な発案はあり、全体周知も行うが業務内に定着する事ができなかった。
重点目標1 ご利用者の精神面での健康維持について考え企画を立案して取り組む	
通期	9月26日～29日でアロマ湯実施。粉の入浴剤はお風呂の故障に繋がる為、バスクリンから販売されていたラベンダーの香りの入浴液を購入し行う。設定した量が少なかったようで、香りは何となくでしか楽しめず次回は入浴液の量の調整が必要。 12月12日～柚子湯実施。初めに予定していた日にちとズれてしまったが、とくに問題なく終了。施設の職員が提供してくれた柚子が思っていたより多く、購入した余った柚子は職員に配ることになった。
重点目標2 職員対し、実用に繋がる口腔ケア研修を行ない、ご利用者の健康維持につとめる	
通期	I課では月四回ある職員会議にて30分程の研修を行った。しかし全職員が出席する事は出来ず一部の職員のための研修に終わってしまう。 II課では職員会議でほぼ全職員研修を受ける事ができた。

重点目標3 ご利用者への衛生面や感染を防止するため、環境整備を行う	
通期	汚物室内の尿器に関しては、夜間のバケツ消毒と同時に消毒をすると決め全体周知。対応については定着している様子あり。個別物品の消毒を行う事を定着させるまでには至らず。

【広報委員会】

会議日		検討・実施内容
4月	15日	『サンライズ』第21号の構成を検討。日中活動、ALS等の特集を検討。
5月	20日	同21号の各原稿の進行状況を確認。冒頭記事は深澤事務長に依頼することとなる。
6月	17日	同21号原稿がほぼ完成し、7月上旬に発行。防災、日中活動、ALS、ボランティアビュー、バーベキューなどの特集記事が出揃う。500部印刷し、発行する。
7月	15日	『サンライズ』第22号の発行時期、構成などを検討。11月末発行となり、併せて職員ブログの進行状況も確認。
8月	19日	同22号の各記事の進行状況を確認。発行時期がみずき祭りとも重なるため、みずき祭りの特集を前面に出すこととなる。具体的な記事内容はまだ着手できず。
9月	16日	同22号作成に向けて、みずき祭り準備、当日の様子、食事メニューについてのコラムなどを検討。
10月	日	
11月	18日	次年度への課題抽出、サンライズ確認
12月	日	
1月	20日	サンライズ確認
2月	22日	次年度計画、予算
3月	日	
総括		
通期	サンライズの定期発行やブログの開設および更新など、年度当初に掲げた目標そのものは、さしあたり実現してはいる。ただ、その機械的な継続のみではマンネリ化が不可避となってしまう、マンネリ防止のための断続的な工夫が必要とされる。	
重点目標1 サンライズの定期発行（年3回）		
通期	年度目標に掲げた「年3回」（6月／11月／2月）の発行は、概ね予定通りの進行状況となった。	
重点目標2 みずきホームページ内容の改良		
通期	ホームページ自体は基本的に広報委員ではなく管理課の管轄となるため、ホームページ全体の改良に着手することはせず。ただ、当初の年度目標の一つであった職員ブログの開設は予定通り実現し、上半期は月一回の改定を基本にほぼ予定通り実行できたが、下半期は滞りがちになってしまった。。	

平成28年度入居支援課事業報告

報告事業所	生活介護Ⅰ & 施設入所支援みずき	データ	12ヶ月分/特記事項	直近記載																																																							
人事	採用者 23名 退職者 17名 異動等 2名 職員状況 (3/31現在)	生活支援員17名(常勤:2名有期12名・夜勤専門:3名)ドライバー1名・医師1名・看護師2名 生活支援員14名(常勤:7名有期5名・夜勤専門2名)・間接業務パート1名・看護師2名 生活支援員2名(入所→通所)																																																									
労働安全	開催日 12回 月間稼働日数 11630日 利用率 93.3%	腰痛複数名 疾病による業務軽減1名 骨折1名 平成28年度 月稼働日 365日 利用者現員 32名 居室数 32 未入所 362 外泊数男/女 0 21 入院数男/女 312 93 完全不在日合計 788日																																																									
事故ヒヤリハット	重大事故 3件 事故ヒヤリハット 127件	<table border="1"> <tr> <th>大区分</th> <th>怪我等</th> <th>怪我等</th> <th>怪我等</th> <th>怪我等</th> </tr> <tr> <td>中区分</td> <td>骨折</td> <td>2</td> <td>打撲</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大区分</td> <td>怪我等</td> <td>25</td> <td>服薬関係</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>中区分</td> <td>出血</td> <td>4</td> <td>誤薬</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表皮剥離</td> <td>4</td> <td>忘れ</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内出血</td> <td>3</td> <td>落下</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>打撲</td> <td>8</td> <td>吐き出し</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>火傷</td> <td></td> <td>セットミス</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>誤嚥</td> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>異食</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			大区分	怪我等	怪我等	怪我等	怪我等	中区分	骨折	2	打撲	1	大区分	怪我等	25	服薬関係	19	中区分	出血	4	誤薬	1		表皮剥離	4	忘れ	5		内出血	3	落下	7		打撲	8	吐き出し			火傷		セットミス	6		誤嚥		その他			異食	1				その他	5		
大区分	怪我等	怪我等	怪我等	怪我等																																																							
中区分	骨折	2	打撲	1																																																							
大区分	怪我等	25	服薬関係	19																																																							
中区分	出血	4	誤薬	1																																																							
	表皮剥離	4	忘れ	5																																																							
	内出血	3	落下	7																																																							
	打撲	8	吐き出し																																																								
	火傷		セットミス	6																																																							
	誤嚥		その他																																																								
	異食	1																																																									
	その他	5																																																									
主な内容	(重大事故) ・4月 骨折事故発生 夜勤帯職員が対象の利用者を左側臥位に体位交換しようとした際、筋緊張が強く右足が伸びてしまい曲がらなかった。その状態で右足を曲げようとした時にポキッと音がする。膝が曲がった状態で、ご本人より膝周辺が痛い訴えあり。翌日整形外科受診。レントゲン、CT、右関節内穿刺施行。明らかな骨折認められないが、穿刺にて油分混入の血清のものが見られたため、右関節内骨折の疑いと診断。 ・10月 骨折事故発生(原因特定できていないが、車椅子からの移乗時に左手小指をぶつけてしまった可能性) ・12月 利用者間による暴行事故発生。利用者A氏がB氏の頬を殴打。その後両名の関係性修復が難しい事から加害のA氏には居室変更して頂く。 (事故ヒヤリ) 上半期は特に所有物管理(利用者私物の破損や忘れ物等)や機器操作(ナースコールセットミス等)の事故が目立っている。また転倒や転倒に結びつく可能性のある車椅子ベルトの装着忘れ等も多く発生している。ヒヤリハットの報告が減少傾向にあり、再び推進していく必要がある。																																																										

報告事業所	障害福祉サービス(短期入所)みずき	データ	12ヶ月分/特記事項	直近記載																																																												
短期入所	月間稼働日数 730日 利用率 80.4%	4~3 月稼働日 365日 利用者数 103名 居室数(併設型) 2床	利用合計日数 587日 居室宿泊日数 泊																																																													
利用者状況	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">(内訳)</th> <th colspan="6">(障害区分別)</th> <th>(人数)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>新規</th> <th>生介Ⅱ</th> <th>外部</th> <th>区分6</th> <th>区分5</th> <th>区分4</th> <th>区分3</th> <th>区分2</th> <th>区分1</th> <th></th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>67</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>53</td> <td>39</td> <td>20</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>36</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>103</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>74</td> <td>67</td> <td>27</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>				(内訳)					(障害区分別)						(人数)		合計	新規	生介Ⅱ	外部	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1		男性	67	7	7	53	39	20	1	7	0	0		女性	36	4	11	21	28	7	1	0	0	0		合計	103	11	18	74	67	27	2	7	0	0	
(内訳)					(障害区分別)						(人数)																																																					
	合計	新規	生介Ⅱ	外部	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1																																																						
男性	67	7	7	53	39	20	1	7	0	0																																																						
女性	36	4	11	21	28	7	1	0	0	0																																																						
合計	103	11	18	74	67	27	2	7	0	0																																																						
	<table border="1"> <tr> <th colspan="7">(障害区分別延べ日数)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>区分6</th> <th>区分5</th> <th>区分4</th> <th>区分3</th> <th>区分2</th> <th>区分1</th> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>417</td> <td>230</td> <td>139</td> <td>3</td> <td>45</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>170</td> <td>138</td> <td>29</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>587</td> <td>368</td> <td>168</td> <td>6</td> <td>45</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>				(障害区分別延べ日数)								合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	男性	417	230	139	3	45	0	0	女性	170	138	29	3	0	0	0	合計	587	368	168	6	45	0	0																					
(障害区分別延べ日数)																																																																
	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1																																																									
男性	417	230	139	3	45	0	0																																																									
女性	170	138	29	3	0	0	0																																																									
合計	587	368	168	6	45	0	0																																																									
	<table border="1"> <tr> <th colspan="10">(地域別利用者数)</th> </tr> <tr> <td>府中</td> <td>22</td> <td>世田谷</td> <td>5</td> <td>狛江</td> <td>30</td> <td>調布</td> <td>5</td> <td>稲城</td> <td>1</td> <td>多摩</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>三鷹</td> <td>7</td> <td>板橋</td> <td>6</td> <td>武蔵野</td> <td>16</td> <td>町田</td> <td>9</td> <td>国立</td> <td>3</td> <td>八王子</td> <td>1</td> </tr> </table>				(地域別利用者数)										府中	22	世田谷	5	狛江	30	調布	5	稲城	1	多摩	5	三鷹	7	板橋	6	武蔵野	16	町田	9	国立	3	八王子	1																										
(地域別利用者数)																																																																
府中	22	世田谷	5	狛江	30	調布	5	稲城	1	多摩	5																																																					
三鷹	7	板橋	6	武蔵野	16	町田	9	国立	3	八王子	1																																																					

28年度 みずき通所支援課事業報告

報告事業所		障害者支援施設みずき 生活介護Ⅱ																																													
人事	採用者	8名	生活支援員2名(正規) 5名(有期) 看護師1名(有期)																																												
	退職者	6名	生活支援員1名(正規) 4名(有期) サービス管理責任者1名(正規)																																												
	異動等	3名	異動:1名(こまえ工房こもれびへ) 1名(I課→II課) 産休育休:1名																																												
	職員状況(3/31時点)																																														
		<table border="1"> <tr> <th></th> <th>生活支援</th> <th>看護</th> <th>夜勤ア</th> <th>サビ管</th> <th>運転</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>常勤</td> <td>11.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有期契約</td> <td>7.3</td> <td>2.4</td> <td>0.7</td> <td>0.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18.3</td> <td>3.4</td> <td>0.7</td> <td>1.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			生活支援	看護	夜勤ア	サビ管	運転						常勤	11.0	1.0	0.0	1.0	0.0						有期契約	7.3	2.4	0.7	0.0	4.0						合計	18.3	3.4	0.7	1.0	4.0					
	生活支援	看護	夜勤ア	サビ管	運転																																										
常勤	11.0	1.0	0.0	1.0	0.0																																										
有期契約	7.3	2.4	0.7	0.0	4.0																																										
合計	18.3	3.4	0.7	1.0	4.0																																										
労働安全衛生	開催日	12回	休職:7~8月看護師1名(入院)、H28.1月~8月生活支援員1名(家族介護)																																												
運営	《生活介護》	28稼働日	257日	利用登録者	33名	定員	20名																																								
	年度稼働延日数	5140日	延利用者数	4470名	一日平均	17.4名	利用率(定員)	87.0%																																							
	前年度実績	27稼働日	258日	延利用者数	4518名	一日平均	17.5名	利用率	87.6%																																						
		(1)三市別利用状況				(2)欠席者数 672名																																									
		①府中市	1706名	(1日 6.64名)	内訳	入院	受診	体調不良	家族都合	SS	その他																																				
		②三鷹市	1805名	(1日 7名)		198	89	147	28	144	66																																				
		③調布市	959名	(1日 3.7名)	(3)利用日外利用 682名																																										
	《日中一時支援》	28稼働日	365日	利用登録者	名	定員	1名																																								
	月間稼働延日数	365日	延利用者数	473名	一日平均	1.3名	利用率(定員)	129.6%																																							
		市別利用状況		府中	三鷹	調布	狛江																																								
			利用者数	332	55	86	0																																								
《委託型短期入所》	28月稼働日	365日	利用登録者	名	定員	4名																																									
月間稼働延日数	1460日	延利用者数	###名	一日平均	2.85名	利用率(定員)	71.2%																																								
	市別利用状況		三鷹	調布	府中	狛江																																									
			利用者数	342	312	379	7																																								
事故	重大事故	0件	大区分																																												
	事故ヒヤリハット	99件	大区分	怪我等 14	服薬関係 11	医療行為 11	対人関係 61																																								
				出血 2	誤薬 1	経管関係 7	利用者同士 2																																								
				表皮剥離 1	忘れ 3	点滴関係	利用者と職員 10																																								
				内出血	落下 1	バルン関係 1	情報管理 14																																								
			中区分	打撲 7	吐き出し	処置関係	所有物管理 30																																								
				火傷	セットミス 2	未測定 1	機器操作 4																																								
				誤嚥	その他 4	その他 2	その他 1																																								
				異食			その他(所在不明含む) 2																																								
				その他 4																																											
総括	<p>・法人基準変更により分類法が今年度より変わった。その影響があり、年度当初は報告件数が一時的に減少したが徐々に回復し、年間では昨年度比-8件だった。</p> <p>・出された報告を課内のリスク係で検討し、再発防止策を現場にフィードバックできるようになっている。</p> <p>・重大事故は発生していないが、経管チューブ内からホチキス針発見(みずきで混入したかは不明)、送迎車両の接触事故、利用者の喫煙後の火の確認等、重大事故につながりかねないことも発生している。</p> <p>・忘れ物、連絡ミス、新人職員一人立ちの時期の確認ミス、市単ショート時の服薬など、事故ヒヤリハットが発生しやすい場面での注意を徹底していく。</p>																																														

平成28年度 入退所状況集計

障害者支援施設みずき（生介Ⅰ・施入支）

計算式入力済 ※入院外泊日数は完全不在日のみカウント

月 日 数	性別	繰越 在籍者 数	入 居	入居内訳				退 居	退居内訳				月 末 在籍者 数	在籍者 実人員	在籍者 延人員	入院		外泊		平均 入居 率
				在 宅	医 療 機 関	他 施 設 等	そ の 他		在 宅	死 亡	長 期 療 養	そ の 他				実 人員	延 人員	実 人員	延 人員	
4月	男	15										15	15	400	2	50	0	0	86.8%	
	女	16										16	16	433	4	46	1	1		
	計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	833	6	96	1	1		
5月	男	15										15	15	430	2	35	0	0	91.3%	
	女	16										16	16	476	1	15	1	5		
	計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	906	3	50	1	5		
6月	男	15	1		1							16	16	448	2	32	0	0	96.6%	
	女	16										16	16	479	1	1	0	0		
	計	31	1	0	1	0	0	0	0	0	0	32	32	927	3	33	0	0		
7月	男	16										16	16	465	1	31	0	0	96.8%	
	女	16										16	16	495	0	0	1	1		
	計	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	32	960	1	31	1	1		
8月	男	16										16	16	465	1	31	0	0	95.9%	
	女	16										16	16	486	1	8	1	2		
	計	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	32	951	2	39	1	2		
9月	男	16										16	16	450	1	30	0	0	94.9%	
	女	16										16	16	461	2	13	1	6		
	計	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	32	911	3	43	1	6		
10月	男	16					1			1		15	16	428	3	68	0	0	93.0%	
	女	16										16	16	495	0	0	1	1		
	計	32	0	0	0	0	1	0	0	1	0	31	32	923	3	68	1	1		
11月	男	15										15	15	433	1	17	0	0	94.9%	
	女	16										16	16	478	1	2	0	0		
	計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	911	2	19	0	0		
12月	男	15										15	15	465	0	0	0	0	96.6%	
	女	16										16	16	493	0	0	1	3		
	計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	958	0	0	1	3		
1月	男	15										15	15	465	0	0	0	0	96.1%	
	女	16										16	16	488	1	6	1	2		
	計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	953	1	6	1	2		
2月	男	15										15	15	420	0	0	0	0	96.9%	
	女	16										16	16	448	0	0	0	0		
	計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	868	0	0	0	0		
3月	男	15	1		1							16	16	478	2	18	0	0	98.0%	
	女	16										16	16	494	2	2	0	0		
	計	31	1	0	1	0	0	0	0	0	0	32	32	972	4	20	0	0		
合計	男	-	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	186	5,347					94.8%	
	女	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	192	5,726						
	計	-	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	378	11,073						

平成28年度 通所支援課サービス利用状況

1 生活介護Ⅱ事業

	1日当たり定員				稼働日	延利用者数				1日平均利用者数				利用率				
	府中市	調布市	三鷹市	合計		府中市	調布市	三鷹市	合計	府中市	調布市	三鷹市	平均人数	府中市	調布市	三鷹市	合計	
4月	7	6	7	20	22	男	66	30	107	203	3.0	1.4	4.9	3.1	42.9%	22.7%	69.5%	45.0%
						女	80	48	58	186	3.6	2.2	2.6	2.8	51.9%	36.4%	37.7%	42.0%
						計	146	78	165	389	3.3	1.8	3.8	2.9	94.8%	59.1%	107.1%	87.0%
5月	7	6	7	20	21	男	62	31	106	199	3.0	1.5	5.0	3.2	42.2%	24.6%	72.1%	46.3%
						女	77	43	49	169	3.7	2.0	2.3	2.7	52.4%	34.1%	33.3%	39.9%
						計	139	74	155	368	3.3	1.8	3.7	2.9	94.6%	58.7%	105.4%	86.2%
6月	7	6	7	20	22	男	62	33	93	188	2.8	1.5	4.2	2.8	40.3%	25.0%	60.4%	41.9%
						女	87	49	57	193	4.0	2.2	2.6	2.9	56.5%	37.1%	37.0%	43.5%
						計	149	82	150	381	3.4	1.9	3.4	2.9	96.8%	62.1%	97.4%	85.4%
7月	7	6	7	20	23	男	67	29	85	181	2.9	1.3	3.7	2.6	41.6%	21.0%	52.8%	38.5%
						女	80	55	58	193	3.5	2.4	2.5	2.8	49.7%	39.9%	36.0%	41.9%
						計	147	84	143	374	3.2	1.8	3.1	2.7	91.3%	60.9%	88.8%	80.3%
8月	7	6	7	20	21	男	62	36	85	183	3.0	1.7	4.0	2.9	42.2%	28.6%	57.8%	42.9%
						女	87	53	59	199	4.1	2.5	2.8	3.2	59.2%	42.1%	40.1%	47.1%
						計	149	89	144	382	3.5	2.1	3.4	3.0	101.4%	70.6%	98.0%	90.0%
9月	7	6	7	20	22	男	60	33	90	183	2.7	1.5	4.1	2.8	39.0%	25.0%	58.4%	40.8%
						女	85	47	65	197	3.9	2.1	3.0	3.0	55.2%	35.6%	42.2%	44.3%
						計	145	80	155	380	3.3	1.8	3.5	2.9	94.2%	60.6%	100.6%	85.1%
10月	7	6	7	20	22	男	65	31	98	194	3.0	1.4	4.5	2.9	42.2%	23.5%	63.6%	43.1%
						女	89	56	59	204	4.0	2.5	2.7	3.1	57.8%	42.4%	38.3%	46.2%
						計	154	87	157	398	3.5	2.0	3.6	3.0	100.0%	65.9%	101.9%	89.3%
11月	7	6	7	20	21	男	52	32	76	160	2.5	1.5	3.6	2.5	35.4%	25.4%	51.7%	37.5%
						女	81	36	56	173	3.9	1.7	2.7	2.7	55.1%	28.6%	38.1%	40.6%
						計	133	68	132	333	3.2	1.6	3.1	2.6	90.5%	54.0%	89.8%	78.1%
12月	7	6	7	20	21	男	57	31	91	179	2.7	1.5	4.3	2.8	38.8%	24.6%	61.9%	41.8%
						女	85	43	57	185	4.0	2.0	2.7	2.9	57.8%	34.1%	38.8%	43.6%
						計	142	74	148	364	3.4	1.8	3.5	2.9	96.6%	58.7%	100.7%	85.3%
1月	7	6	7	20	19	男	48	28	89	165	2.5	1.5	4.7	2.9	36.1%	24.6%	66.9%	42.5%
						女	79	57	56	192	4.2	3.0	2.9	3.4	59.4%	50.0%	42.1%	50.5%
						計	127	85	145	357	3.3	2.2	3.8	3.1	95.5%	74.6%	109.0%	93.0%
2月	7	6	7	20	21	男	49	29	92	170	2.3	1.4	4.4	2.7	33.3%	23.0%	62.6%	39.6%
						女	81	48	53	182	3.9	2.3	2.5	2.9	55.1%	38.1%	36.1%	43.1%
						計	130	77	145	352	3.1	1.8	3.5	2.8	88.4%	61.1%	98.6%	82.7%
3月	7	6	7	20	23	男	57	29	103	189	2.5	1.3	4.5	2.7	35.4%	21.0%	64.0%	40.1%
						女	83	52	63	198	3.6	2.3	2.7	2.9	51.6%	37.7%	39.1%	42.8%
						計	140	81	166	387	3.0	1.8	3.6	2.8	87.0%	58.7%	103.1%	82.9%
合計	84	72	84	240	258	男	707	372	1115	2194	32.8	17.3	51.9	102.1	39%	24%	62%	42%
						女	994	587	690	2271	46.3	27.4	32.1	105.8	55%	38%	38%	44%
						計	1701	959	1805	4465	39.6	22.4	42.0	104.0	94%	62%	100%	85%

平成28年度 通所支援課サービス利用状況

2 日中一時支援事業

	1日当たり定員				稼働日	延利用者数				1日平均利用者数				利用率				
	府中市	調布市	三鷹市	合計		府中市	調布市	三鷹市	合計	府中市	調布市	三鷹市	平均人数	府中市	調布市	三鷹市	合計	
4月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	12	2	1	15	0.4	0.1	0.0	0.2	121.2%	20.2%	10.1%	50.5%
						女	12	4	3	19	0.4	0.1	0.1	0.2	121.2%	40.4%	30.3%	64.0%
						計	24	6	4	34	0.4	0.1	0.1	0.2	242.4%	60.6%	40.4%	114.5%
5月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	4	4	1	9	0.1	0.1	0.0	0.1	39.1%	39.1%	9.8%	29.3%
						女	18	2	3	23	0.6	0.1	0.1	0.2	176.0%	19.6%	29.3%	74.9%
						計	22	6	4	32	0.4	0.1	0.1	0.2	215.1%	58.7%	39.1%	104.3%
6月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	6	3	0	9	0.2	0.1	0.0	0.1	60.6%	30.3%	0.0%	30.3%
						女	19	1	4	24	0.6	0.0	0.1	0.3	191.9%	10.1%	40.4%	80.8%
						計	25	4	4	33	0.4	0.1	0.1	0.2	252.5%	40.4%	40.4%	111.1%
7月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	18	8	0	26	0.6	0.3	0.0	0.3	176.0%	78.2%	0.0%	84.7%
						女	18	0	4	22	0.6	0.0	0.1	0.2	176.0%	0.0%	39.1%	71.7%
						計	36	8	4	48	0.6	0.1	0.1	0.3	351.9%	78.2%	39.1%	156.4%
8月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	20	9	0	29	0.6	0.3	0.0	0.3	195.5%	88.0%	0.0%	94.5%
						女	13	5	3	21	0.4	0.2	0.1	0.2	127.1%	48.9%	29.3%	68.4%
						計	33	14	3	50	0.5	0.2	0.0	0.3	322.6%	136.9%	29.3%	162.9%
9月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	12	3	0	15	0.4	0.1	0.0	0.2	121.2%	30.3%	0.0%	50.5%
						女	15	2	4	21	0.5	0.1	0.1	0.2	151.5%	20.2%	40.4%	70.7%
						計	27	5	4	36	0.5	0.1	0.1	0.2	272.7%	50.5%	40.4%	121.2%
10月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	10	3	0	13	0.3	0.1	0.0	0.1	97.8%	29.3%	0.0%	42.4%
						女	15	1	6	22	0.5	0.0	0.2	0.2	146.6%	9.8%	58.7%	71.7%
						計	25	4	6	35	0.4	0.1	0.1	0.2	244.4%	39.1%	58.7%	114.0%
11月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	10	2	0	12	0.3	0.1	0.0	0.1	101.0%	20.2%	0.0%	40.4%
						女	15	3	4	22	0.5	0.1	0.1	0.2	151.5%	30.3%	40.4%	74.1%
						計	25	5	4	34	0.4	0.1	0.1	0.2	252.5%	50.5%	40.4%	114.5%
12月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	10	6	1	17	0.3	0.2	0.0	0.2	97.8%	58.7%	9.8%	55.4%
						女	14	4	6	24	0.5	0.1	0.2	0.3	136.9%	39.1%	58.7%	78.2%
						計	24	10	7	41	0.4	0.2	0.1	0.2	234.6%	97.8%	68.4%	133.6%
1月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	13	3	1	17	0.4	0.1	0.0	0.2	127.1%	29.3%	9.8%	55.4%
						女	17	1	5	23	0.5	0.0	0.2	0.2	166.2%	9.8%	48.9%	74.9%
						計	30	4	6	40	0.5	0.1	0.1	0.2	293.3%	39.1%	58.7%	130.3%
2月	0.3	0.3	0.3	1.0	28	男	7	4	0	11	0.3	0.1	0.0	0.1	75.8%	43.3%	0.0%	39.7%
						女	18	5	3	26	0.6	0.2	0.1	0.3	194.8%	54.1%	32.5%	93.8%
						計	25	9	3	37	0.4	0.2	0.1	0.2	270.6%	97.4%	32.5%	133.5%
3月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	18	4	0	22	0.6	0.1	0.0	0.2	176.0%	39.1%	0.0%	71.7%
						女	19	7	4	30	0.6	0.2	0.1	0.3	185.7%	68.4%	39.1%	97.8%
						計	37	11	4	52	0.6	0.2	0.1	0.3	361.7%	107.5%	39.1%	169.4%
合計	4.0	4.0	4.0	11.9	365	男	140	51	4	195	4.6	1.7	0.1	6.4	116%	42%	3%	54%
						女	193	35	49	277	6.4	1.2	1.6	9.1	160%	29%	41%	77%
						計	333	86	53	472	5.5	1.4	0.9	7.8	276%	71%	44%	130%

平成28年度 通所支援課サービス利用状況

3 市委託型ショートステイ事業

月	1日当たり定員					稼働日	延利用者数					1日平均利用者数					利用率				
	調布市	三鷹市	府中市	狛江市	合計		調布市	三鷹市	府中市	狛江市	合計	調布市	三鷹市	府中市	狛江市	平均人数	調布市	三鷹市	府中市	狛江市	合計
4月	1	1	1	1	4	30	男 11	10	16	0	37	0.4	0.3	0.5	0.0	0.3	36.7%	33.3%	53.3%	0.0%	30.8%
							女 7	18	14	0	39	0.2	0.6	0.5	0.0	0.3	23.3%	60.0%	46.7%	0.0%	32.5%
							計 18	28	30	0	76	0.3	0.5	0.5	0.0	0.3	60.0%	93.3%	100.0%	0.0%	63.3%
5月	1	1	1	1	4	31	男 14	14	12	0	40	0.5	0.5	0.4	0.0	0.3	45.2%	45.2%	38.7%	0.0%	32.3%
							女 6	16	19	0	41	0.2	0.5	0.6	0.0	0.3	19.4%	51.6%	61.3%	0.0%	33.1%
							計 20	30	31	0	81	0.3	0.5	0.5	0.0	0.3	64.5%	96.8%	100.0%	0.0%	65.3%
6月	1	1	1	1	4	30	男 12	3	17	0	32	0.4	0.1	0.6	0.0	0.3	40.0%	10.0%	56.7%	0.0%	26.7%
							女 13	21	15	0	49	0.4	0.7	0.5	0.0	0.4	43.3%	70.0%	50.0%	0.0%	40.8%
							計 25	24	32	0	81	0.4	0.4	0.5	0.0	0.3	83.3%	80.0%	106.7%	0.0%	67.5%
7月	1	1	1	1	4	31	男 18	7	20	0	45	0.6	0.2	0.6	0.0	0.4	58.1%	22.6%	64.5%	0.0%	36.3%
							女 7	20	12	0	39	0.2	0.6	0.4	0.0	0.3	22.6%	64.5%	38.7%	0.0%	31.5%
							計 25	27	32	0	84	0.4	0.4	0.5	0.0	0.3	80.6%	87.1%	103.2%	0.0%	67.7%
8月	1	1	1	1	4	31	男 20	5	21	0	46	0.6	0.2	0.7	0.0	0.4	64.5%	16.1%	67.7%	0.0%	37.1%
							女 13	25	6	0	44	0.4	0.8	0.2	0.0	0.4	41.9%	80.6%	19.4%	0.0%	35.5%
							計 33	30	27	0	90	0.5	0.5	0.4	0.0	0.4	106.5%	96.8%	87.1%	0.0%	72.6%
9月	1	1	1	1	4	30	男 12	8	21	0	41	0.4	0.3	0.7	0.0	0.3	40.0%	26.7%	70.0%	0.0%	34.2%
							女 16	23	9	0	48	0.5	0.8	0.3	0.0	0.4	53.3%	76.7%	30.0%	0.0%	40.0%
							計 28	31	30	0	89	0.5	0.5	0.5	0.0	0.4	93.3%	103.3%	100.0%	0.0%	74.2%
10月	1	1	1	1	4	31	男 17	5	25	0	47	0.5	0.2	0.8	0.0	0.4	54.8%	16.1%	80.6%	0.0%	37.9%
							女 8	27	11	0	46	0.3	0.9	0.4	0.0	0.4	25.8%	87.1%	35.5%	0.0%	37.1%
							計 25	32	36	0	93	0.4	0.5	0.6	0.0	0.4	80.6%	103.2%	116.1%	0.0%	75.0%
11月	1	1	1	1	4	30	男 13	9	0	0	22	0.4	0.3	0.0	0.0	0.2	43.3%	30.0%	0.0%	0.0%	18.3%
							女 14	23	28	0	65	0.5	0.8	0.9	0.0	0.5	46.7%	76.7%	93.3%	0.0%	54.2%
							計 27	32	9	0	87	0.5	0.5	0.5	0.0	0.4	90.0%	106.7%	93.3%	0.0%	72.5%
12月	1	1	1	1	4	31	男 17	8	25	4	54	0.5	0.3	0.8	0.1	0.4	54.8%	25.8%	80.6%	12.9%	43.5%
							女 11	27	14	0	52	0.4	0.9	0.5	0.0	0.4	35.5%	87.1%	45.2%	0.0%	41.9%
							計 28	35	39	4	106	0.5	0.6	0.6	0.1	0.4	90.3%	112.9%	125.8%	12.9%	85.5%
1月	1	1	1	1	4	31	男 12	6	21	3	42	0.4	0.2	0.7	0.1	0.3	38.7%	19.4%	67.7%	9.7%	33.9%
							女 10	23	12	0	45	0.3	0.7	0.4	0.0	0.4	32.3%	74.2%	38.7%	0.0%	36.3%
							計 22	29	33	3	87	0.4	0.5	0.5	0.0	0.4	71.0%	93.5%	106.5%	9.7%	70.2%
2月	1	1	1	1	4	29	男 14	4	19	0	37	0.5	0.1	0.7	0.0	0.3	48.3%	13.8%	65.5%	0.0%	31.9%
							女 15	17	9	0	41	0.5	0.6	0.3	0.0	0.4	51.7%	58.6%	31.0%	0.0%	35.3%
							計 29	21	28	0	78	0.5	0.4	0.5	0.0	0.3	100.0%	72.4%	96.6%	0.0%	67.2%
3月	1	1	1	1	4	31	男 17	7	31	0	55	0.5	0.2	1.0	0.0	0.4	54.8%	22.6%	100.0%	0.0%	44.4%
							女 16	25	4	0	45	0.5	0.8	0.1	0.0	0.4	51.6%	80.6%	12.9%	0.0%	36.3%
							計 33	32	35	0	100	0.5	0.5	0.6	0.0	0.4	106.5%	103.2%	112.9%	0.0%	80.6%
合計	12	12	12	12	48	366	男 177	86	228	7	498	5.8	2.8	7.5	0.2	16.3	48.3%	23.5%	62.1%	3.8%	34.4%
							女 136	265	153	0	554	4.5	8.7	5.0	0.0	18.2	37.3%	72.3%	41.9%	0.0%	37.9%
							計 313	351	362	7	1033	5.1	5.7	6.2	0.1	17.2	85.6%	95.8%	104.0%	3.8%	72.3%

平成 28年度 みずき日中活動実績一覧表

月分	軽体操	カラオケ	グループ ハ(PT,OT)	ポッチャ	制作活動	専門職相 談	陶芸	呼吸リハ	レクリ エーション	スヌーズ レン	みずきもっ と知りたい 会	音レク
H28.4月	63	35	35	23	12		15	4	40	33		
5月	41	26	65	14		8	9	5	14	48		
6月	47	20	64	8		6	11	2	20	34		
7月	37	13	44	3		10	12	2	9	21		
8月	57	39	53	9		10	11	2	15	40		
9月	57	16	54	13		9	7	2	14	33		
10月	45	15	43	6			14	2	13	29		
11月	48	18	37	8			7	1	18	34		
12月	56	43	35	12			12		21	43	6	
H29.1月	61	30	34	13			6		20	41	6	
2月	66	22	38	10		1	19		19	41	6	18
3月	60	43	42	10			15		22	57	6	12
合計	638	320	544	129	12	44	24	20	225	454	24	30

月分	利用者有 志ミーティ ング	散策	映画上映 会	音楽療法	美容講習 会	Gスぺ ース	ピアカン 講習会	朗読ボラ ンティア	歯磨き 講習会	ポッチャ 交流戦	カラオケ 交流会	合計
H28.4月	6			17	10		6	7		8		314
5月	6	21		20	8		7	10	3	12		317
6月	7	14	15	19	9		7	8	3		16	310
7月	6	16	14	24	8		7	6	3	11		246
8月	7		13	31	8	18	7	5			9	334
9月	5	16	11	28	9	31	6	7		11		329
10月	6	15	15	34	8		7	11			7	270
11月	7	6	18	38	8	14	7	11		9		289
12月			17	27	6	28	7	20			11	344
H29.1月			17	20	5	25	7	16		14		315
2月			14	25	7	25	7	8			16	342
3月			12	41	7	31	7	14				379
合計	50	88	146	324	93	172	82	123	9	65	59	3789

※延参加者数

平成28年度権利擁護委員会報告

<相談対応（件数）>

受付／対象	入所ご利用者	通所ご利用者	短期入所ご利用者	ご家族
みずき職員	37	0	0	3
第三者委員	34	19	0	0

<苦情対応>

1、みずき職員受付（入所ご利用者：15件※うち1件短期利用者 通所ご利用者：0件）

受付日	内容	対応状況
4月22日	ナースコールを使用できない状況について対応してくれない。	解決
5月2日	開けておいてほしい居室の扉を勝手に閉める職員がいる。	解決
5月17日	乱暴な介助、馬鹿にした対応をする職員がいる。	解決
5月19日	夜間巡視に来てくれない、自分の意思を確認してくれない職員がいる。	解決
6月7日	排泄の対応を依頼したが、断られ、対応してもらえなかった。（短期入所）	解決
8月19日	嫌なことを言う職員がいる。叩かれたと感じる職員の対応があった。	解決
8月26日	介助内容を把握せず、利用者にも確認しないで介助する職員がいる。	解決
9月27日	特定の利用者居室内をジロジロみたり、無断で入室してくることがある。	解決
11月15日	嫌な呼び方をしてくる職員がいる。	解決
12月5日	私物の飲み物を断りも無く職員に捨てられた。	解決
1月24日	決まっている介助を行わない職員がいる。	解決
2月2日	自分のことを軽視していると感じる職員の対応を受けた。	解決
2月6日	統一されていない職員の対応や、職員育成や管理体制について。	対応中
3月7日	職員に嫌なことを言われた。	解決
3月15日	言葉遣いが悪く、利用者を見下していると感じる対応をする職員がいる。	対応中

2、第三者委員受付（入所ご利用者：5件 通所のご利用者：0件）

受付日	内容	対応状況
4月19日	居室の設備不備を対応してくれない、介助が乱暴。	解決
5月25日	食事の際にルールを守れない利用者があり、迷惑している。	解決
8月4日	利用者の家族が職員と長話をするので待たされる。等	解決
9月20日	居眠りしている職員がいる。食事介助中に利用者にご飯をねだる職員がいる	解決
3月14日	来訪者への態度の悪い職員がいる。食事に対しケチをつける職員がいる。	対応中

平成28年度 実習・研修等実施状況

	期間/日にち	内容	実施先	人数
実習	8/1~2/10	教員免許取得希望者介護等体験（5日間）	通所支援課	11
	9/26~9/30	東京慈恵会医科大学福祉体験実習（5日間）	通所支援課	2
	5/16~5/29	東洋大学（介護士養成）	入居支援課	2
	6/4~6/10	東洋大学（上記と同一実習生）	入居支援課	2
	6/11~6/23	駒沢女子短期大学（保育士養成実習）	入居支援課	1
	8/8~8/26	文京学院大学（介護士養成実習）	入居支援課	2
	2/13~2/24	駒沢女子短期大学（保育士養成実習）	入居支援課	1
	2/1~2/10	世田谷福祉専門学校（介護士養成実習）	入居支援課	2
	2/27~3/10	聖ヶ丘教育福祉専門学校（保育士養成実習）	入居支援課	2
	期間/日にち	内容	主催	参加者/対象者
外部研修	4/9~10	エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座	エンドオブライフ・ケア協会	宮内
	4月17日	コミュニケーション研修	東京都介護福祉士会	積田
	4/26~27	初任者研修	東京都福祉人材センター	佐藤
	5月3日	低ADL・寝たきりの方のゴール設定〜リハ専門職が考えるべきこと〜	株式会社gene	八木
	5/17~18	初任者研修	東京都福祉人材センター	青山
	5月21日	看護師が少ない介護施設で安全に進める医療的ケア	日総研	宮内
	5/24~25	初任者研修	東京都福祉人材センター	五十嵐
	6月~9月	平成28年第1回東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（不特定多数の者対象）	東京都保健福祉財団	鹿島 水野
	6月~8月	相談支援従事者初任者研修	東京都	落合
	6/13~14	関プロ職員支援力アップ勉強会	関東・甲信越地区身体障害者施設協議会	久木原
	6. 9. 12. 2月	東障協 看護職研修	多摩療護園 日野療護園 みずき	伊藤 堀
	7月9日	排便サポートセミナー&排便日誌アセスメント研修	ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー	宮内 中根 澤井 五十嵐
	7/21~22	第40回全国身体障害者協議会研究大会	全国身体障害者協議会	落合
	7/26~27	中堅職員研修	東京都福祉人材センター	久保
	8月7日	精神認知機能領域の作業療法	株式会社gene	前田
	8/9~10	ICTを用いた指導・支援	発達協会	前田
	9月~12月	平成28年第2回東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（不特定多数の者対象）	東京都保健福祉財団	嘉手納 古田 里見
	9月7日	行動障害のある利用者への支援について〜視点を 変えてみませんか〜	東社協知的発達障害部会通所 施設分科会・東京都障害者通 所活動施設職員研修会	古田
	9月18日	寝たきりの方への具体的介入方法とリハビリテーション	株式会社gene	八木
	9/18~30	東京都障害者支援施設等人材育成事業派遣職員研修・医療的ケア（多摩療護園）	東京都	青木
	9/20~21	指導看護師研修	東京都保健福祉財団	田中
	9/27~28	中堅職員研修	東京都福祉人材センター	磐上
	9月28日	けやきの森学園 学校公開(肢体不自由部門)	府中けやきの森学園	田島
	9/29~30	第37回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会	関東・甲信越地区身体障害者施設協議会	久木原
	9. 12月	東障協 介護職員研修	清瀬療護園等	畠山 田村 佐藤
	10月15日	認知症の理解とシーティング	日本シーティング・コン サルタント協会	前田

	11月15日	重度心身障害者の意思決定支援（発表含む）	東京都障害者通所活動施設職員研修会	八木 前田 渡邊
	12月8日	食事援助	江戸川区障害者施設「摂食・嚥下委員会」	國府方 嘉手納 武井 馨上
	11月15日	食事場面の車椅子シーティング	関西看護ケア研究会	畠山
	12/16、1/6	平成28年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	東京都福祉保健局	井川 積田
	12/10～11	シーティングコンサルタント養成研修（基礎過程・実技編1）	日本シーティングコンサルタント協会	前田
	期間／日にち	内容	実施場所	参加者／対象者
みずき 内部研修	4～5月	福祉施設の使命と権利擁護	アネックス会議室・活動室	全職員
	6月	組織とキャリア形成	アネックス会議室・活動室	全職員
	7月14日	普通救命講習（府中消防署）	アネックス会議室	13名
	11月	障害理解と介護	アネックス会議室・活動室	入居支援課 通所支援課
	12～3月	権利擁護研修委員会内部研修	アネックス会議室	入居支援課 通所支援課
	3月24日	権利擁護研修委員会内部研修「施設利用当事者の権利主張と権利擁護」（多摩療護園・平井園長）	活動室	全職員
	3月	疾病と介護	アネックス会議室・活動室	入居支援課 通所支援課
	3月	地域資源の活用と自立支援	アネックス会議室・活動室	入居支援課 通所支援課
	期間／日にち	内容	実施場所	参加者／対象者
部署内 研修	4～7月	介護技術向上研修	アネックス会議室等	入居支援課
	5月	応対について	活動室	通所支援課
	6月	感染予防研修	活動室	通所支援課
	7～9月	短期入所対応・制度について研修	アネックス会議室	入居支援課
	8月	排便サポートセミナー研修報告会	アネックス会議室	入居支援課
	9～10月	口腔ケア研修	アネックス会議室・活動室	入居支援課 通所支援課
	11月	感染予防シミュレーション研修	アネックス会議室	入居支援課
	2月	防犯研修	アネックス会議室・活動室	入居支援課 通所支援課
	3月	権利擁護研修	アネックス会議室・活動室	入居支援課 通所支援課
法人内 研修	期間／日にち	内容	実施場所	参加者／対象者
	年間を通して	指導職員研修部会	法人内事業所	畠山 金 鹿島
	年間を通して	事業運営研修部会	法人内事業所	久木原 今村
その他	期間／日にち	内容	実施場所	参加者／対象者
	4月1日	新人研修	アネックス会議室	5名
	2月5日	事業計画説明会	デイルーム	全職員
	3月3日	第三者評価利用者調査報告会（マイイヘルプユー）	アネックス会議室	役職者

H28年度 通所支援課利用者 医療状況(通期)

1 事業所内の医療実施状況

投薬 処置	生活介護事業												委託型短期入所事業						全体									
	三鷹市			府中市			調布市			小計			三鷹市			府中市			調布市			小計			小計			
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	合計	
内服薬(経口)	40	102	142	94	348	442	0	84	84	134	534	668	88	258	346	160	94	254	7	118	125	433	470	903	567	1004	1571	
内服薬(経管より注入)	450	0	450	200	0	200	0	225	225	650	225	875	0	0	0	49	0	49	0	0	0	0	0	0	0	650	225	875
処置	2085	0	2085	975	1382	2357	0	804	804	3060	2186	5246	64	0	64	0	0	0	0	168	12	180	281	12	375	3341	2280	5621
気管内吸引(カニューレあり)	68	0	68	242	0	242	0	0	0	310	0	310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	310	0	310
気管内吸引(カニューレなし)	112	0	112	0	204	204	0	5	5	112	209	321	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	209	321
口腔・鼻腔内吸引	431	0	431	242	603	845	0	324	324	673	927	1600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	673	927	1600
吸入	0	0	0	35	120	155	0	134	134	35	254	289	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	254	289
胃薬経管栄養・補水	213	0	213	0	0	0	0	225	225	213	225	438	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	213	225	438
経鼻経管栄養・補水	69	0	69	98	204	302	0	0	0	167	204	371	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	167	204	371
経腸栄養(腸管)持続ポンプ	0	0	0	102	0	102	0	0	0	102	0	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102	0	102
経口胃管挿入・経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	104	104	0	104	104	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104	104
胃薬カテーテル留置・包交	68	0	68	0	0	0	0	0	0	68	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	68
膀胱皮膚清潔・入浴時処置	209	0	209	0	0	0	0	0	0	209	0	209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	209	0	209
導尿	0	0	0	0	203	203	0	0	0	0	203	203	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	203	203
自己導尿介助	0	0	0	94	0	94	0	0	0	94	0	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	94
褥瘡処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
点眼・点鼻・点耳	289	0	289	0	0	0	0	0	0	289	0	289	10	0	10	0	0	0	0	82	84	0	94	82	176	383	82	465
外用薬処置(軟膏塗布など)	622	0	622	162	48	210	0	0	0	784	48	832	54	0	54	49	0	49	0	84	0	84	187	0	187	971	48	1019
浣腸	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12	0	0	12	4	12	16
摘便	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
坐薬挿入	0	0	0	0	0	0	0	12	12	0	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2575	102	2677	1269	1730	2499	0	1113	1113	3844	2945	6789	152	258	410	209	94	346	7	130	137	714	482	1278	4558	3509	8067	

(*表中の数値は特定の行為を要する利用者の利用日数を合算したものとす。)

- 2 通所支援課利用者の医療状況の傾向
- 利用者医療状況の昨年からの変化は (1) 8月末にシャント(水頭症) 不全・けいれん発作で入院中の男性利用者、シャント入替の手術後、経鼻胃管留置し11月退院。11/21より利用再開。
 (2) 10月発熱で入院の女性利用者、褥瘡治療・服薬調整後1月退院。
 (3) 11月呼吸状態の低下で入院の男性利用者(喉頭気管分離)、気管軟化症と診断。呼吸状態落ち着き2/1
 (4) H29、2月胃瘻カテーテル交換時に出血あり、その後肺血症との診断で入院中の男性利用者、3月末時点で入院中。入院中に胸水貯留も見つかり;
 (5) H29、3月、女性利用者、喉頭気管分離術実施(カニューレフリー)

平成28年度 みずぎ食事提供数集計表

	入居支援 課(朝)	入居支援 課(昼)	入居支援 課(夕)	入居支援 課(短期 朝)	入居支援 課(短期 昼)	入居支援 課(短期 夕)	通所支援 課	通所支援 課(短期 朝)	通所支援 課(短期 夕)	日中一時	検食(3 食)	職員食	合計
4月	682	670	669	28	26	26	300	56	56	20	3	300	2836
5月	721	703	714	30	26	30	277	58	59	12	3	269	2902
6月	718	700	707	28	20	29	293	60	59	9	3	298	2924
7月	741	729	738	24	22	24	283	63	63	33	3	334	3057
8月	739	729	732	35	28	35	288	63	64	41	3	360	3117
9月	697	690	695	33	25	32	295	67	67	14	3	336	2954
10月	740	721	732	36	34	36	305	71	71	17	3	364	3130
11月	698	685	698	36	33	35	250	68	70	18	3	345	2939
12月	739	727	732	35	25	35	267	79	79	25	3	364	3110
1月	740	730	736	34	26	34	267	64	62	21	3	318	3035
2月	669	661	667	32	27	33	261	58	60	13	3	341	2825
3月	728	720	723	45	30	44	282	78	79	31	3	396	3159
年度計	8612	8465	8543	396	322	393	3368	785	789	254	36	4025	35988
食費	2,153,000	5,502,250	4,698,650	99,000	209,300	216,150	2,189,200	196,250	433,950	165,100		1,207,500	17,070,350

朝食250円
昼食650円
夕食550円

諸会議実施報告

平成28年度 「みずき運営会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月8日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④27年度事業報告 ⑤苦情等 ⑥その他
2	5月6日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④27年度事業報告 ⑤みずき、SSみずき運営規程変更 ⑥生介Ⅱ一日外出について ⑦生介Ⅰシャワー室設置について ⑧苦情等 ⑨その他
3	6月3日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④外部研修について ⑤普通救命講習について ⑥6/2防災訓練について ⑦苦情等 ⑧その他
4	7月8日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④虐待防止セルフチェック集計結果について ⑤自動車総連の寄附について ⑥ストレスチェックについて ⑦苦情等 ⑧その他
5	8月5日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④見学研修について ⑤施設の防犯体制について ⑥苦情等 ⑦その他
6	9月9日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④半期まとめについて ⑤9/29防災訓練について ⑥苦情等 ⑦その他
7	10月7日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④みずき祭りについて ⑤リスク管理会議より緊急連絡体制について ⑥良い支援等月次報告について ⑦みずき中長期ビジョンについて ⑧9/29防災訓練反省について ⑨苦情等 ⑩その他 ・ルール七さされたものが出来ていない件について
8	11月4日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④モラルサーベイについて ⑤リスク管理会議より緊急連絡体制について ⑥有線放送運用について ⑦次年度へ向けて ⑧苦情等 ⑨その他 ・Ⅱ課一日外出について
9	12月9日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④モラルサーベイ(→給与規定変更)について ⑤モラルサーベイについて主任等の意見等 ⑥接遇等チェックリストについて ⑦久保職員音楽活動について ⑧1/8高圧線端子交換に伴う停電について ⑨職員緊急連絡掲示板(サイボウズライブ)について ⑩次年度会議体について ⑪防犯カメラ設置について ⑫「おしほり」について ⑬「クリスマスイルミネーション」について ⑭年末年始の確認について ⑮苦情等 ⑯その他
10	1月6日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④接遇等チェックリスト集計結果について ⑤次年度に向けて ・事業計画 ・会議体 ⑥キャリアパス一覧表(案)について ⑦職員休憩スペースについて ⑮苦情等 ⑯その他 ・検診について
11	2月3日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④次年度に向けて ・会議体 ⑤防犯対策について ⑥苦情等 ⑦その他
12	3月3日	①部署、会議体、委員会報告 ②法人理事会、法人経営者会議等より ③事故報告と検討 ④監査指摘事項 ⑤次年度に向けて ・事業計画説明会 ⑤苦情等 ⑦その他 ・利用者の喫煙について

平成28年度「みずき経営会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月20日	①部署、会議体、委員会報告 ②I課ALS利用枠調整 ③I課シャワー室設置 ④日中活動の散歩の実施について ⑤人事関係 ⑥診療所体制 ⑦事業報告について ⑧運営規程見直し(SS、II課土曜日営業) ⑨事業計画の推進 ⑩その他 経営会議の出席者
2	5月18日	①部署、会議体、委員会報告 ②I課ALS利用枠調整 ③I課シャワー室設置 ④日中活動の散歩の実施について ⑤人事関係 ⑥診療所体制 ⑦事業報告について ⑧運営規程見直し(SS、II課土曜日営業) ⑨第三者評価について ⑩事業計画の推進 ⑪その他 ・施設調査 ・研修について
3	6月15日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係 ③夏季賞与について ④診療所体制 ⑤運営規程見直しについて(SS、生介II土曜日営業) ⑥利用契約及び個別支援計画 ⑦マイナンバーの取扱いについて ⑧セルフチェックリスト集計結果について ⑨寄付について ⑩事業計画の推進について ⑪その他 ・挨拶について ・中学生職場体験受入 ・ナースコール更新
4	7月20日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係 ③レジデンス戸締りについて ④診療所体制 ⑤会議構成について ⑥研修願、出張申請について ⑦I課支援体制について ⑧II課土曜日営業について ⑨自動車総連寄付について ⑩事業計画の推進について ⑪その他 ・利用者調査について ・人材育成研修について
5	8月17日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係 ③防犯体制について ④診療所体制 ⑤上半期総括について ⑥I課ナースコール入替について ⑦非課税証明書有料化の是非について ⑧事業計画の推進について ⑨その他 ・自動車総連寄付について ・就業規則確認について ・9月の防災訓練日程について ・みずき祭り食事費用について
6	9月21日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係 ③第三者評価利用者調査について ④診療所体制、嘱託医勤務内容等 ⑤第三者委員への苦情申立方法について ⑥I課ナースコール入替について ⑦非課税証明書有料化の是非について ⑧事業計画の推進について ⑨その他 ・BGMについて
7	10月19日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係 ③医務科(看護)業務内容の整理について ④診療所体制、嘱託医について ⑤重要事項説明書の改定について ⑥I課ナースコール入替について ⑦当直体制の復活について ⑧事業計画の推進について ⑨その他 ・都権利擁護研修について
8	11月16日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係 ③モラルサーベイ問題提起について ④次年度に向けて ・組織会議体のあり方について ⑤冬季賞与について ⑥重要事項説明改訂について ⑦I課ナースコール入替について ⑧当直体制の復活について(メリット、デメリット) ⑨事業計画の推進について ⑩その他 ・年末年始体制について
9	11月24日	①モラルサーベイ ②宿直メリット、デメリット ③会議体の構成案 ④待遇等チェックリスト ⑤その他 ・停電について
10	12月21日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係 ③モラルサーベイ問題提起、人事考課システム再構築、給与規定改定について ④次年度に向けて ・組織 ・会議体 ・事業計画重点目標「共有と協力」について ⑤重要事項説明改訂について ⑥I課ナースコール入替について ⑦休憩スペースの設定について ⑧事業計画の推進について ⑨その他 ・都、府中市の指導監査について
11	12月27日	①人事関係 ③キャリアパス再構築について ③次年度に向けて ・組織 ・会議体 ・事業計画重点目標「共有と協力」について
12	1月13日	①人事関係 ③キャリアパス再構築について ③次年度に向けて ・組織 ・会議体 ・重点目標 ・スケジュール(確認と周知) ④ナースコールシステム更新について ⑤都、府中市実地検査準備について ⑥その他
13	1月18日	①部署、会議体、委員会報告 ②都、府中市の指導監査準備について ③キャリアパス再構築について ④次年度計画策定に向けて ⑤第三者評価利用者調査結果について ⑥その他
14	2月22日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係について ③次年度に向けて ・事業計画、予算 ・組織、人事 ・会議構成、メンバー ・処遇改善加算 ・昇給会議 ・事業計画説明会 ④実地検査の指摘事項について ⑤ナースコールシステム更新について ⑥その他 ・法人の事業展開について
15	3月15日	①部署、会議体、委員会報告 ②人事関係について ③次年度に向けて ・事業計画、予算 ・組織、人事 ・処遇改善加算 ・昇給会議 ・事業計画説明会 ④実地検査の文書指摘事項改善策について ⑤ナースコールシステム更新について ⑥その他 ・浴室のれん(防災)購入について

平成28年度 「入居支援課会議」実施報告書

ユニット会議			
	日付	ユニット	主たる議題
1	4月5日	さくら	運営会議報告、ケース検討、事業計画説明
	4月12日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、事業計画説明
	4月19日	つばき	運営会議報告、ケース検討、事業計画説明
	4月26日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、事業計画説明
2	5月3日	さくら	運営会議報告、ケース検討、ALS居室入居者について
	5月10日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、ALS居室入居者について
	5月17日	つばき	運営会議報告、ケース検討、ALS居室入居者について
	5月24日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、ALS居室入居者について
3	6月7日	さくら	運営会議報告、ケース検討
	6月14日	こすもす	運営会議報告、ケース検討
	6月21日	つばき	運営会議報告、ケース検討
	6月28日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討
4	7月5日	さくら	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	7月12日	こすもす	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	7月19日	つばき	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	7月26日	ひまわり	内部研修・運営会議報告、ケース検討
5	8月2日	さくら	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	8月9日	こすもす	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	8月16日	つばき	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	8月23日	ひまわり	内部研修・運営会議報告、ケース検討
6	9月6日	さくら	運営会議報告、ケース検討
	9月13日	こすもす	運営会議報告、ケース検討
	9月20日	つばき	運営会議報告、ケース検討
	9月27日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討
7	10月4日	さくら	運営会議報告、ケース検討
	10月11日	こすもす	運営会議報告、ケース検討
	10月18日	つばき	運営会議報告、ケース検討
	10月25日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討
8	11月1日	さくら	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	11月8日	こすもす	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	11月15日	つばき	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	11月22日	ひまわり	内部研修・運営会議報告、ケース検討
9	12月6日	つばき	運営会議報告、ケース検討
	12月13日	こすもす	運営会議報告、ケース検討
	12月20日	さくら	運営会議報告、ケース検討

	12月27日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討
10	1月10日	さくら	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	1月17日	こすもす	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	1月24日	つばき	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	1月31日	ひまわり	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	2月7日	さくら	内部研修・運営会議報告、ケース検討
11	2月14日	こすもす	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	2月21日	つばき	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	2月28日	ひまわり	内部研修・運営会議報告、ケース検討
	3月7日	さくら	運営会議報告、ケース検討
12	3月14日	こすもす	運営会議報告、ケース検討
	3月21日	つばき	運営会議報告、ケース検討
	3月28日	ひまわり	内部研修・運営会議報告、ケース検討

利用者会議			
	日付	場所	主たる議題
1	4月26日	ユニット	・職員人事について ・実習生の受け入れについて ・新規利用者について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	4月28日		
2	5月24日	ユニット	・職員人事について ・静養室の再設置及び居室変更について ・物品の破損について ・シャワー室の設置について ・防災訓練について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	5月26日		
3	6月23日	ユニット	・実習生の受け入れについて ・食中毒予防月間について ・新規利用者について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	6月28日		
4	7月26日	ユニット	・職員人事について ・実習生の受け入れについて ・おやつタイムについて ・シャワー室の工事について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	7月28日		
5	8月23日	ユニット	・職員人事について ・個別支援について ・自動車総連からの寄付について ・女性入浴について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	8月25日		
6	9月22日	ユニット	・職員人事について ・施設内の工事について ・ケアプラン及び支援状況報告書について ・お餅の取り扱いについて ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	9月27日		
7	10月25日	ユニット	・職員人事について ・清瀬療護園グループホーム事業の紹介 ・シャワー室について ・有線放送 について ・爪切り、体温計の購入について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	10月27日		
8	11月22日	ユニット	・第三者評価について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	11月24日		
9	12月22日	ユニット	・職員人事について ・年末年始の予定について ・災害時の備えについて ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	12月27日		
10	1月24日	ユニット	・職員人事について ・実習生の受け入れについて ・第三者評価の結果について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	1月26日		
11	2月23日	ユニット	・職員人事について ・防災訓練、防犯対策について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	2月28日		
12	3月23日	ユニット	・職員人事について ・人員不足による協力のお願について ・お花見について ・苦情・相談報告 ・事故・ヒヤリ報告
	3月28日		

平成28年度 入居支援課アセスメント会議実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月1日	K氏（男性） 28年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
2	4月5日	T氏（女性） 28年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
3	4月11日	S氏（男性） 28年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
4	4月25日	Y氏（女性） 28年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
5	3月6日	K氏（女性）、N氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
6	3月7日	N氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
7	3月8日	Y氏（女性）、T氏（男性）、K氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
8	3月9日	I氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
9	3月10日	K氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
10	3月13日	K氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
11	3月15日	Y氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
12	3月16日	K氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
13	3月17日	O氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
14	3月20日	M氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
15	3月21日	O氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
16	3月23日	N氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
17	3月24日	K氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
18	3月28日	M氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
19	3月30日	M氏（女性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議
20	3月31日	T氏（女性）、M氏（男性） 29年度ケアプラン立案に向けたアセスメント会議

平成28年度「通所支援課全体会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月26日	・会議体報告（健康/菖蒲湯 リスク/災害時の連絡方法） ・係報告（リスク/事故、ヒヤリハット報告） ・主任報告（勤務表、訪問美容、リーダー業務、外出について） ・施設長より報告（運営報告、内部研修/福祉施設の使命と権利擁護） ・サビ管（利用者状況）
2	5月24日	・会議体報告（リスク管理会議/防災訓練について、事故・ヒヤリの書式の変更） ・係報告（環境/浴室清掃 活動/クッキー作り） ・施設長より報告（運営報告、応対についての説明） ・主任より報告（勤務表、日帰り外出について）
3	6月28日	・会議体報告（リスク管理会議） ・主任より報告（課内研修について） ・アクシデント、インシデント報告 ・施設長より報告（日中一時の受け付け方法・利用者虐待について） ・リスク管理会議 ・食中毒予防月間DVD鑑賞研修
4	7月27日	・会議体報告 ・主任より報告（外出について） ・アクシデント、インシデント報告 ・施設長より報告（運営会議報告）
5	8月23日	・会議体報告（リスク管理/火災想定での防災訓練について・行事/みずき祭り） ・係報告（アロマ湯の実施） ・主任より報告（勤務関係・常勤会議報告・ケアプラン中間評価） ・施設長より報告（運営会議報告）
6	9月27日	・係、委員会報告 ・主任より（勤務関係、常勤会議報告、利用者関係、日帰り外出） ・施設長より（運営報告） ・審議事項 ①フロア内マット下の清掃実施日について ②タオルの洗濯対応について
7	10月25日	・係、委員会報告（みずき祭りアンケート、リスク報告） ・主任より（勤務関係、常勤会議報告、利用者関係、日帰り外出） ・施設長より（運営報告）
8	11月22日	・委員会、係報告（リスク/事故ヒヤリハット報告・環境/年末大掃除、マット下清掃、活動/12月活動予定・行事/みずき祭りアンケート） ・主任より報告（勤務関係・運営会議報告等） ・サビ管より報告（利用状況について） ・看護より報告
9	12月27日	・委員会、係報告（リスク・活動・食事） ・主任より報告（勤務関係・業務担当について・休み申請について） ・サビ管より報告（利用者報告） ・看護より報告（AEDの使用方法について） ・施設長より報告（運営報告）
10	1月24日	・係、委員会報告 ・主任より（勤務関係、次年度外出アンケート報告、常勤会議報告、次年度予算） ・サビ管より（ケアプラン評価、その他の報告） ・看護（吸引研修等） ・施設長より（運営会議報告）
11	2月28日	・権利擁護研修 ・リスク管理会議（防犯意識向上月間～さすまたの使用法） ・係、委員会報告 ・主任より（勤務関係、常勤会議報告） ・施設長より（運営会議報告）
12	3月28日	・係、委員会報告 ・主任より（勤務関係、利用者関係、常勤会議報告） ・サビ管より（ケアプラン作成について） ・看護より（利用者関係、3号研修について） ・施設長より（運営会議報告）

平成28年度「通所支援課運営会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月11日	・月次報告 ・利用者、職員状況 ・利用者の受け入れについて ・事業報告の作成 ・事故、ヒヤリハットの 新基準 ・職員面談の実施
2	5月9日	・月次報告 ・利用者・職員状況 ・昨年事業報告 ・一日外出について ・土曜日の営業日化に向けて ・ 次回利用者懇談会、家族懇談会について
3	6月6日	・月次報告 ・利用者・職員状況 ・土曜日の営業化に向けて ・見学研修の企画について ・職員面談 ・ 次回利用者懇談会、家族懇談会について

4	7月11日	・月次報告・利用者状況、職員状況・土曜営業の営業日化について・職員面談の実施・次回家族懇談会・次回の利用者懇談会
5	8月8日	・月次報告・利用者状況、職員状況・土曜日の営業日化に向けて・見学研修の実施について・次回の利用者懇談会・事業計画推進
6	9月16日	・月次報告・利用者状況、職員状況・昨年度事業報告・一日外出について・土曜日の営業日化に向けて・職員面談・次回利用者懇談会・事業計画推進
7	10月10日	・月次報告・利用者状況、職員状況・土曜営業化に向けて（入浴、送迎、職員配置等）・家族懇談会・三市報告会(10月21日)・事業計画推進(上半期事業報告)
8	11月14日	・月次報告・利用者、職員状況・1月からの土曜営業化に向けて・家族懇談会・医療的ケア等の判断について・事業計画の推進
9	12月12日	・月次報告・利用者状況、職員状況・職員希望休について・1月からの土曜営業化・家族懇談会・医療的ケア等の判断・事業計画の推進
10	1月9日	・月次報告・利用者状況、職員状況・土曜日の営業開始・家族アンケートまとめ・1月14日 家族懇談会の内容・次年度の事業計画、予算要望、年間予定等・事業計画推進
11	2月13日	・月次報告・利用者状況、利用枠について・職員状況（12月～1月の採用状況・面談の実施・次年度体制）・土曜日営業の状況・課題・次年度に向けて（事業計画・年間予定・予算要望・役割分担） ・その他（全体職員会議・権利擁護・防犯）
12	1月9日	・月次報告・利用者状況、利用枠について・職員状況（12～1月で5名入職）・土曜日営業の状況・課題・次年度に向けて（会議、委員会の構成・メンバーについての検討、調整） ・その他（1/14実施の家族懇談会の内容・家族アンケートのまとめ・連絡帳の変更）
13	2月13日	・月次報告・利用者状況、利用枠について・職員状況（面談の実施について・委員会、会議体のメンバーの変更） ・土曜日営業の状況・課題・次年度に向けて（事業計画・年間行事予定・会議日、懇談会の日程設定・予算・役割分担）
12	3月14日	・月次報告（監査についての報告、改善点） ・利用者状況、利用枠について・職員状況（常勤登用についての検討） ・土曜日営業の状況・課題・次年度に向けて（事業計画・予算・年間予定・役割分担）

平成28年度「家族懇談会」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月9日	・事業報告(人事に関する報告、他)・事業計画・送迎について・平成28年度事業計画の説明・一日外出の実施について・こまえ工房のクッキー販売について・喀痰吸引について
2	7月18日	・軟菜食試食会・運営報告・活動紹介・1日外出の実施・土曜営業について
3	10月10日	・事業報告(人事に関する報告、他)・第三者委員について・みずき祭りについて・日帰り外出について・その他（三市への要望）
4	1月14日	・事業報告（土曜日営業について、防犯対策について、新人職員紹介） ・活動報告（スカイツリー外出、みずき祭り、W A I W A I 祭り） ・初詣外出案内 ・次年度に向けて（アンケートのまとめ、家族懇談会の回数、時期、内容について） ・意見交換

平成28年度「常勤会議」実施報告書

	日付け	主たる議題
1	4月19日	・施設長報告（運営報告、事業報告について） ・サビ管報告（利用者状況） ・主任報告（連絡帳の記載内容、日帰り外出について） ・係報告（環境/浴室清掃 夜勤職員の寝具交換 汚物室の改装について） ・その他（訪問美容サービスについて）

2	5月17日	・会議体、係報告（クッキー作り・ヒヤリハットの報告・浴室清掃について） ・サビ管より（利用者状況・ケアプランについて） ・主任より（リーダー研修・業務分担表・日帰り外出について） ・施設長より（運営報告）
3		・常勤会議なし
4	7月19日	・会議体、係り報告（介護体験学生受け入り・防災設備点検） ・サビ管より（利用者状況） ・主任より（研修進捗状況、分担表について・日帰り外出） ・施設長より（運営報告・見学研修等）
5	8月16日	・会議体、係報告（リスク/火災想定防災訓練） ・サビ管より（ケアプラン中間評価） ・主任より（新人研修進捗・職員勤務関係・係編成） ・施設長より（運営報告・見学研修）
6	9月20日	・会議体・係報告 ・サビ管より（ケアプラン関係・土曜開所・利用者関係） ・主任より（10月度予定・スカイツリー外出） ・施設長より（運営報告） ・通所支援課での自然災害が起きた時の対応について
7	10月18日	・会議体・係報告 ・主任より（11月度予定・スカイツリー外出） ・施設長より（運営報告・利用者の体調の緊急時の対応について） ・みずき祭りについて
8	11月15日	・会議体・係報告 ・主任より（職員勤務関係、初詣外出、リーダー研修等） ・施設長より（運営報告）
9	12月20日	・運営報告 ・休み申請のついて ・業務分担について ・利用者状況
10	1月20日	・会議体、係報告 ・主任より（職員勤務関係、次年度の活動計画、新人研修の進め方） ・サビ管より ・施設用より（運営報告）
11	2月21日	・施設長より（運営報告） ・会議体、係より（周知事項） ・主任より（職員勤務関係、係編成、リーダー研修、分担表について） ・その他
12	3月21日	・施設長より（運営報告） ・会議体、係より（周知事項） ・主任より（職員勤務関係、係編成、新規利用者について、ケアプラン担当変更、ケアプラン作成） ・その他

平成28年度「グループミーティング」実施報告書

	日付け	主たる議題
1	4月6日	Cチームケア会議 ・H氏 帰宅願望についての対応、車椅子の座り方について ・K氏 木曜の活動参加について
2	4月20日	Dチームケア会議 ・K氏 利用状況の確認 ・S氏 トロミ剤の使用について ・O氏 喫煙について ・H氏 入浴について ・H氏 ウォーカーの使用について ・M氏 活動参加について ・S氏 活動参加、発作のノートについて ・K氏 15時以降の活動について ・H氏 車椅子からの滑落について
3	5月4日	Aチームケア会議 ・N氏 外出時、外気浴の際の衣類の調整について ・M氏 気分転換の方法 ・Y氏 食事、水分補強の際の咽込みについて ・K氏 車椅子乗車時の舌根沈下について ・H氏 自走時のリスクについて
4	5月19日	Bチームケア会議 ・O氏 食事について、体重想定 ・T氏 低体温の対応 ・関わり方について ・I氏 食事の食べ方、役割について ・N氏 マーゲンチューブ抜去防止の検討 ・I氏 S S中の体調 ・T氏 ミトンの使用、残存機能の維持
5	6月1日	Cチームケア会議 ・H氏 15時からの過ごし方 ・K氏 木曜の日中活動について ・各利用者の問題点、状況の確認
6	6月15日	Dチームケア会議 ・K氏 排尿間隔、吸引、臀部の褥瘡と腰痛について ・Y氏 右足指の化膿、出血について ・O氏 頭皮の痒みの対応 ・H氏 トイレの時間が長い事、食べこぼしが多い事、血圧を測らせてくれない事について

7	7月13日	Aチームケア会議 ・N氏 車椅子新規作成、衣類の調整について ・ピーススティーック、前掛けの交換について ・H氏 発作の状況 ・Y氏 新規車椅子作成 ・H氏 飲み物の咽込みについて、臀部の発赤について、自走での接触について
8	7月20日	Bチームケア会議 ・T氏 入院中の様子 ・O氏 発作について ・H氏 午後の活動参加 ・I氏 市単SS利用の様子 ・T氏 呼吸リハビリ、STリハビリについて ・N氏 市単SS利用希望について
9	8月1日	Cチームケア会議 ・H氏 車椅子座位の安定について ・K氏 日中の過ごし方について ・K氏 15時以降の過ごし方について ・H氏 車椅子からの滑落について ・S氏 日中いらだつことがあることについて ・H氏 東大和療育センターからのリハビリの記録について ・M氏 日中の過ごし方について ・S氏 新規車椅子作成 ・H氏 発声の対応について
10	8月23日	Dチームケア会議 ・C氏 臀部の褥瘡について ・H氏 入浴、尿漏れについて ・U氏 体温調整、水分補給について ・N氏 体重増加について ・K氏 臀部の褥瘡、腰痛について ・H氏 食べこぼし、トイレについて
11	9月5日	Aチームケア会議 ・N氏 新規車椅子作成 ・S氏 市単SSの夜間マニュアル作成 ・Y氏 泣いているときの対応 ・N氏 写真カードの活用 ・H氏 市単SS時の様子、トロミ剤使用について、かーる君使用について
12	9月21日	Bチームケア会議 ・O氏 移乗時のヒヤリ、移乗方法の検討 ・A氏 差し込み尿器使用について ・I氏 食事介助について
13	10月5日	Cチームケア会議 ・H氏の家族面談報告 ・K氏 ベッド静養時の過ごし方について ・K氏 足のむくみ緩和 ・車椅子からの滑落について ・S氏、M氏 新規車椅子作成 ・H氏 リハビリについて ・S氏 声の大きさについて
14	10月19日	Dチームケア会議 ・S氏 人口鼻のが壊れやすい事についての対応 ・Y氏 ハンドロール使用について ・H氏 食事の食べこぼしについて
15	11月7日	Aチームケア会議 ・N氏 入浴後の尿漏れについて ・H氏 個別に話をしたいと希望があった時の対応方法 ・S氏 面談時の報告 ・Y氏 吸引の実施について ・H氏 帰りの送迎の開始の状況の確認
16	11月30日	Bチームケア会議 ・T氏 ミトンの使用について ・N氏 マーゲンチューブ抜去の対策 ・O氏 発作の状況、1月の利用開始 ・T氏 呼吸リハの回数
17	12月7日	Cチームケア会議 ・前回話し合ったことの確認 ・H氏 昼食時の喫煙について ・K氏 足のむくみについて ・H氏 車椅子からの滑落について ・M氏、S氏 新規車椅子作成後の活動参加について
18	12月21日	Dチームケア会議 ・U氏 体調について、水分補給について ・O氏 入浴時間について ・H氏 食べこぼしについて
19	1月4日	Aチームケア会議 ・N氏 入院状況の確認 ・M氏 水筒持参の件 ・職員と話を希望された時の対応についての確認 ・咽込み、吸引の状況について ・H氏 1月からの利用について

20	1月18日	Bチームケア会議 ・T氏 尿量減少、体重減少、口腔内の乾燥 ・O氏 土曜利用の状況について ・A氏 個別支援外出の報告 ・I氏 ショート利用と、泣かれる事について ・N氏 緊張の緩和方法について ・T氏 靴の購入について ・T氏 ミトン使用についての行動制限に関するモニタリング、活動参加について
21	2月1日	Cチームケア会議 ・K氏 活動参加について ・H氏 昼食時の喫煙について ・K氏 足のむくみ ・H氏 車椅子からの滑落
22	2月15日	Dチームケア会議 ・前回検討した内容についての進捗確認
23	3月1日	Aチームケア会議 ・N氏 体調の状況の確認 ・M氏 唾液が多い事への対応 ・H氏 水分量増加についての対応 ・Y氏 トイレに移乗方法 ・K氏 日光浴について ・H氏 新規車椅子作成、入所について
24	3月15日	Bチームケア会議 ・T氏 低温火傷の対応、活動参加 ・O氏 入浴の状況、体重増加について ・T氏 トイレでの転倒した件の対策 ・T氏 ミトン使用についての行動制限についてのモニタリング、残存機能の活用について ・I氏 車椅子用テーブルの使用について

平成28年度 「管理課会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月11日	①H27年度 事業報告 ②管理課事業計画進捗 ③各業務報告 ④法人本部、他事業所、法人事務会議報告 ⑤勉強会
2	5月12日	①H27年度事業報告 ②管理課事業計画進捗 ③各業務報告 ④法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ⑤業務効率化・合理化検討（費用発生の情報提供、可視化）⑥文書整理、保存について ⑦散歩対応
3	6月10日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④住民税の特別徴収について ⑤文書整理、保存について ⑥社会保険の改正について ⑦散歩対応
4	7月13日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④マイナンバーの取扱いについて ⑤ストレスチェック ⑥相談支援システム導入について ⑦文書整理、保存について ⑧散歩対応について ⑨食中毒予防月間について
5	8月11日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④文書整理、保存について ⑤外部研修について ⑥防犯等安全管理確認について ⑦8月の休み等の確認
6	9月12日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④みずき祭り ⑤文書管理について ⑥外部研修 ⑦上半期事業報告 ⑧GH都指導監査について
7	10月14日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④みずき祭り ⑤上半期事業報告 ⑥国際福祉機器展 ⑦預かり印鑑 ⑧GH都指導監査について ⑨マイナンバー通知カード取扱いについて
8	11月19日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④みずき祭り ⑤年末調整説明会 ⑥次年度に向けた課題抽出 ⑦年末年始関係
9	12月8日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④文書管理 ⑤年末調整 ⑥年末年始関係
10	1月13日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④文書管理 ⑤都、府中市指導監査について ⑥雇用保険適用拡大について
11	2月9日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④都、府中市指導監査について ⑤29年度事業計画について ⑥事務員の休憩について ⑦男性ロッカー入替について ⑧出勤停止の取扱いについて
12	3月10日	①管理課事業計画進捗 ②各業務報告 ③法人本部、他事業所、法人事務会議等報告 ④都、府中市指導監査について ⑤30年度事業計画について ⑥1分間スピーチについて ⑦事業計画説明会について ⑧研修報告について

平成28年度「栄養科会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月21日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 軟菜食について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
2	5月19日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 軟菜食について 食器購入について 食中毒予防について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
3	6月16日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 軟菜食について 通所支援課外出について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
4	7月21日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 軟菜食について 冷蔵庫購入について 施設外研修について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
5	8月18日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 軟菜食について みずき祭りについて 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
6	9月15日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 みずき祭りについて 軟菜食について 後期人員配置について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
7	10月	人員不足により、会議開催はなし。
8	11月17日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 軟菜食について 年末年始行事について 29年度課題抽出 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
9	12月15日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 29年度予算編成 軟菜食について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
10	1月19日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 東京都府中市監査について 軟菜食について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生
11	2月	人員不足により、会議開催はなし。
12	3月16日	運営会議、委員会、管理栄養士報告 軟菜食について 誕生日食について 次年度体制について 行事食、イベント選択食メニューについて 労働安全衛生